



288.2-Y79ウ  
88.2  
Y79  
ウ  
\*1200800290315\*

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始





127-22  
KI/M-22

288.2  
Y79

纂輯御系圖





本書を覽ん人は併せて『皇位繼承篇』を坐右  
に闕くべからず該書今や増訂の勞を卒へ將  
に日ならずして刊行せられんさすそのいか  
に舊來の面目を一新しいかに讀者の便を謀  
りあるかは蓋し讀者の手に入りて後これを  
判すべく敢てこゝに言ふを要せざるべし

四 月

版元敬白



無疆





惟

休



明治十年十一月廿日

陸軍大將兼議長議定官  
二品大勳位親王熾仁





纂輯佛系圖 増訂第三版本の巻の目

硯堂老人 美静

増訂本この佛系圖をさきつゝあれ  
官のあつた日其時官人等よりてがま  
人と共り力を尽して考究しその後となり  
ては官のあつたり版木をたがひて時と違ふなり  
心附くるといふ増し直しをさうせんといふは  
考へあつた事として世よりひろめようの事なり







凡例

本書ハ、第一代神武天皇ヨリ起テ、第百廿一代今上ニ至リ、天皇ノ皇子皇女及皇兄弟皇姊妹ヲ舉ゲ、其ノ他皆コレヲ漏ラス、煩ヲ省クナリ、但シ諸王ト雖ヘドモ、皇太子ニ立ケシコトアル者ハ之ヲ載ス、皇位ノ繼承ニ關スルガ故ナリ

歷世ノ天皇ノ御系統ヲ記セル者ニ、皇胤紹運録アリ、而シテ其ノ書古刻アリ、新刻アリ、古刻ハ尊卑分脉ニ在ル所ノ者即チ是ナリ、新刻ハ所謂群書類從ニ収ムル所ノ者即チ是ナリ、今此ノ書ヲ作ルニ、新刻本ヲ以テ藍本ト爲ス、故ニ新刻本ヲ以テ記スル所ノ者ハ、書名ヲ記載セズ、古刻本ニ從フ者ハ〔紹一本〕ト記載シ以テ別ツ、新刻本ヨリ以下ノ數世ハ、本朝皇胤續録、本朝皇胤紹運續録、本朝皇胤紹運附録等ヲ參取シテ之ヲ補ヒ、皆傍ニ補



ノ字ヲ記ス

歴世天皇ヲ除クノ外ハ、皇子皇女等悉ク皆其ノ出典ヲ記載ス、  
索搜ニ便スルナリ、而シテ其掲グル所ノ書ハ、殊ニ要用ノ者ヲ  
採リ、限ルニ二書ヲ以テス、但シ史冊ニ見ル所ノ者尠キ者アレ  
バ、其ノ見ル所ノ者ヲ以テ悉ク皆掲載ス、因テ三四書ニ及ベル  
者アリ、又名稱ニ異同アレバ、亦皆掲載シテ三四書ニ及ベル者  
アリ、又他書ニ見ル所無クシテ、獨新刻本紹運錄ニノミ掲グル  
所ノ者ハ、**紹**ノ字ヲ記ス

引用スル所ノ書ハ、其ノ書名ノ中一兩字ヲ採テ記ス、一代要記  
ハ、**○**人車記ハ、**⊙**女院記ハ、**〔**女院**〕**大鏡裏書ハ、**〔**大裏**〕**ノ如シ、而シテ  
別ニ其ノ書ノ全名ヲ掲ゲ、檢字ヲ作テ以テ索搜ニ便ス  
本書ハ生母及養母ヲ記スルニ后妃ヲ以テ稱セズ、源氏某藤原

氏某ト記ス、簡便ヲ要スルナリ、但シ内親王諸王ニシテ院號ヲ  
上リシ者ハ、院號ヲ以テ稱ス

皇子皇女ノ排行ノ實的知スベカラザル者ハ、概シテ藍本ト爲  
ス所ノ皇胤紹運錄ニ從フ、而シテ後陽成天皇以下ニ於テハ、其  
次序盡明ナレバ、男女嫡庶ヲ論ゼズ、其降誕ノ前後ヲ以テ叙列  
ス

天皇ノ不正位ナル者ハ、御名ノ上ノ白圈ヲ以テ黑圈ト爲シ、以  
テ之ヲ別ツ

皇胤紹運錄ノ古刻本新刻本並ニ誤載ト爲スベキ者アリ、然レ  
ドモ今猥リニ之ヲ棄テズ、舊ニ依テ存シ、其ノ上ニハノ印ヲ施  
ス、又二書ノ外ニ更ニ補フ者アレバ、傍ニ**補**ノ字ヲ記シ、以テ之  
ヲ別ツ、又諸親王家ノ系圖ヲ卷末ニ附ス、亦更ニ補フ者ナリ、但、



世系ニ關セザル者ハ、唯、親王ト稱スル者ノミヲ舉ゲテ其ノ他  
ヲ略ス、後醍醐天皇、後村上天皇、後龜山天皇ノ三代ハ、諸王等ニ  
至ルマデ皆掲載ス、讀史ニ便スルナリ  
光格天皇ヨリ以下ハ特ニ記スル所ヲ詳ニス、四親王家ノ系圖  
モ亦然リ、即今ノ要務ニ關スルコト有レバナリ  
此書ヲ纂輯スルヤ、固ヨリ一時倉猝ノ舉ニ出デ、博ク諸書ヲ採  
ルニ遑アラズ、故ニ自其確正ニシテ誤ナキヲ保シ難シ、而シテ  
之ヲ今時刊行ノ諸書ニ比スルニ或ハ寸長アラム、是則本院此  
ヲ以テ上梓スル所以ナリ、其紕謬アラムガ如キハ、宮内省修撰  
ノ御系譜ノ出ルヲ待テ之ヲ釐革セムトス

明治九年十二月

横山由清  
黒川眞頼 同識

四

五

### 増訂第三版發行ニ就キテ

一、本書及ビ皇位繼承篇ノ、元元老院ニ於テ、編纂官刊セラレタ  
ル來由ハ、第一版ノ序跋既ニ之ヲ悉セリ、爾後増訂ノ要アル  
ヲ感シ、其版權ノワガ家ニ移ルヤ、一タビ其事ニ從ヒシモ、未  
ダ印刷ニ付スルニ至ラズ、カクテ十年ナラントスル今日ニ  
至リテ、ワガ讀史界ノ要求ハ、益、二書ヲシテ、依然タル舊面目  
ニ安ゼシムルコト能ハズ、此ニ於テカ、再ビ前業ヲ紹ギ、頃者  
少カ意ヲ慰ムルニ足ルマデニ至リシヲ以テ、先ヅ本書ヲ發  
行スルコト、セリ、ソノ体裁ヲ改メテ、梨版ヲ捨テ、活字ヲ取  
リ、紙幅ヲ小ニシ、冊數ヲ約ニシタルモノハ、聊カ讀者ノ用ニ  
便ゼントスルノ微意ニ外ナラズ、

一、本書開版ヲ距ルコト、實ニ二十有五年、其間皇室ノ隆昌ニ從



ヒテ當然増補セザルベカラザルモノハ、固ヨリ言フナ俟タズ、皇族諸家ニ至ルマデ悉ク之ヲ追加セリ、殊ニ前版ニアリテハ、天皇ノ皇子皇女及ビ皇兄弟皇姉妹ヲ舉ゲテ、其他ニ及バズ、諸親王家ニ於テモ、世系ニ關セザル者ハ、唯親王ト稱スル者ノミヲ舉ゲテ、其他ヲ省略シタレドモ、今回ノ追補ニ方リテハ、今上ノ御代ハ、特ニ一々具載シテ漏ラサズ、庶幾クハ、當代ニ於ケル天潢懿親ノ詳ヲ知ラシメント欲スルニアリ、但シ限ルニ本年七月ヲ以テセシモノハ、印行ノ便ニ從ヒシノミ、

一、前版藍本ノ誤載ト爲スベキモノ、( )ヲ以テ標シタル中、全ク性質ヲ異ニスルモノアリ、乃チ別ニ□□ヲ以テ之ヲ區別ス、又前版ノ外ニ補ヒシモノハ、傍ニ(再補(新加)ノ目ヲ標記セリ

六

七

其他改訂ニ屬スルモノ、蓋シ尠カラズ、一々ハ本書ニ就キテ、之ヲ了知センコトヲ望ム、

一、今回引用ノ書類多シ、僅カニ其主要トスルモノヲ書目ニ加ヘテ、餘ハスベテ之ヲ省略セリ、其煩ヲ避ケンガ爲ナリ、  
一、本書ヲ校訂スルニ方リ、東京帝國大學史料編纂掛ニ就キテ、其編纂中ノ史料、及ビ記録文書ヲ借覽シ、益ヲ得タルコト最モ多シ、又圖書頭勝間田稔、同屬井上頼圀ノ二氏ハ、當代系譜ノ補記ニ就キテ、尠カラザル助力ヲ與ヘ、而シテ山縣昌臧氏ハ、終始綿密ナル注意ヲ以テ校訂ニ從ヒ、田邊勝哉、野村傳四郎ノ二氏、マダ勞スル所少カラズ、コ、ニ之ヲ記シテ謝意ヲ表ス、

明治三十五年九月

福 羽 美 靜



## 序

我日本帝國建國の體として、萬世一系の皇統を以て、海内を統御したまへり。神武天皇即位元年より、今上皇帝の今年に至るまで、年をへしこと二千五百三十七年、其皇位の繼承百廿一代に至れり。歴世の美德比なきのみならず、國民の幸福何ことかこれにらんや。しかるにとしをへしことかくの如く久しく、繼承の數かくの如く多きにより、これを詳にすること頗る難し。故に往々學者其説をたづね、其書を究め、撰著する所の書籍も少なからず。わが元老院において、もさきには舊典類纂の一科をまうけ、中について、皇位の



繼承を詳論せり。今其ついでを以て皇統の系圖を校  
正し、一篇の書冊となす。皇統系譜の書すでに多しと  
いへども、或は古に詳にして、後世に略なるあり、或は  
近世に密なりといへども、首尾とよのはざるあり、或  
は撰者の私見を専らにして、古書にかなはざるあり。  
これにより今按する所の本圖は、古書に憑據して私  
説附會を加ふることなく、近世飯田忠彦按する所の  
御系圖、修史館修する所の皇親系の稿本等に至るま  
で、すべてこれを探擇せり。其要凡例に載するが如し。  
とかれどもこれを搜ぐればますく疑を生じ、これ  
を究むればいよく詳なるを欲し、なほ後世の刪補

をまつこと少なからず。此業や本院書記の職を奉ず  
る所の横山由清黒川眞頼専ら從事し、予も議官たる  
を以てこれを總裁せり。よりて其事由を記して以て  
序文とす。

紀元二千五百三十七年明治十年一月

議官兼二等侍講從四位福羽美靜元老  
院の官房に書す



## 序

安見し、我大君の大御統の、天壤のむた、いや無窮に、  
唯一系にまします事はし、世の人皆の知れる所なれ  
は、今更言壽出でむも、なか／＼におろかなるわざな  
れども、かく御代のつぎ／＼、五十榎八桑枝なす、立榮  
えましましけるからに、國体の精華をなせるものに  
て、海の外の國々に、その例えあらぬこそ、言卷も恐く  
めでたき事なれば、臣民たらむもの、いかでか言壽  
奉らずであるべき。そも／＼、たゞに言壽まつるべき  
のみならず、その大御統のさまを、玉椿つはらかに辨  
へ知りて、めでたきが上にもいよ／＼めでたく、美しき



が上にもますく美しかれと、勤み勉むべきが、臣民  
たらむまことの道にしあれば、そのつぎてくをか  
きしるせる書、古より何くれいと多かれど、文の華、日  
々に開けて咲匂ふ今の時にも、明治の大御代まで、う  
つ墨繩の一筋に、うちわたしつゝ見もて行かるゝ書  
の、いとく稀らなるなむ、實にあかぬ事なりしを、子  
爵福羽美静大人、茲に志を深められ、世にありとあら  
ゆる書ともに徴して、纂輯御系圖、皇位繼承編など云  
ふ書をなむ、著はされたりける。元老院の藏版に係る  
もの、すなはち是なり。大人はかくて後も、學の海廣く  
深く、文の林遠くはるけく、あしたゆふべにたどられ

ければ、その書の中に、なほしも足らはぬ所、たがへる  
所ありとて、そを増しも訂しもせむと、年頃老を忘れ  
て、いたづきをられたりしが、今回なしをへられて、更  
に摺卷とせむとて、おのれに一言をと聞えおこさる。  
いでや此書よ、御代々々の大御統の上は更なり、竹の  
園生の末葉までも、紐鏡たえぬためしの隈なく見え  
わたるに、悦はしさも、めでたさも、いやまさりて、こよ  
なく覺ゆるまゝに、聊か思ふ由をかくなむ

明治卅五年十一月

井上頼國識



引用書目

- 一畫 ① 一代要記
- 二 ② 人車記
- ③ 二水記
- ④ 小右記
- ⑤ 三代實錄
- ⑥ (三寶) 三寶院列祖次第
- ⑦ 山槐記
- ⑧ 上宮記
- ⑨ (上月) 上月記
- ⑩ 女院小傳
- ⑪ (女院) 女院記
- ⑫ 大鏡
- ⑬ (大裏) 大鏡裏書
- 四
- ⑭ 大乘院日記目錄
- ⑮ 帝王編年記
- ⑯ 日本書紀
- ⑰ 文德天皇實錄
- ⑱ 新撰姓氏錄
- ⑲ 尊卑分脈
- ⑳ 五代帝王物語
- ㉑ 太平記
- ㉒ 水左記
- ㉓ 中右記
- ㉔ 元亨釋書
- ㉕ (元裏) 元弘日記裏書
- ㉖ 仁和寺御傳



五

- 仁和寺日次記
- 今鏡 續世編
- 神皇正統記
- 古事記
- 台記
- 平戶記
- 平氏系圖
- 四親王系圖
- 仙源抄奥書
- 百練抄
- 伏見宮御系譜 改訂
- 公卿補任
- 西宮記裏書
- 女后名字抄
- 安井門跡次第

六

七

- 池の藻屑
- 有栖川宮藏御系圖
- 有栖川宮御家系
- 伊勢家集
- 扶桑略記
- 扶桑略記裏書
- 李花集
- 作者部類
- 皇親系
- 太神宮例文
- 長秋記
- 明月記
- 東鑑
- 東寺長者補任
- 東寺年代記

八

三

- 東大寺別當次第
- 東大寺要錄
- 東寺執行日記
- 諸門跡譜
- 門葉記
- 諸門跡傳
- 仁和寺諸院家記
- 和長記
- 近代御系圖
- 近代御系譜
- 日本後紀
- 後深心院關白記
- 後愚昧記
- 保元物語
- 皇帝紀抄

九

- 皇代記
- 皇帝系圖 前田本
- 皇年代略記
- 古本帝王圖 大日本史所引
- 帝王系圖 前田本
- 帝系圖
- 瓊林拾花集
- 看聞日記
- 南朝公卿補任
- 南朝皇胤譜
- 南方紀傳
- 南朝紹運圖
- 南朝紹運錄
- 南朝編年紀略
- 信濃宮後系



⑩ (重應) 重編應仁記  
砂玉和歌集

建内記

十

⑪ 皇胤系圖 大日本史所引

⑫ 齋宮記

⑬ (宮系) 宮内省御系譜

⑭ 桂宮系譜

⑮ 齋院記

⑯ 浪合記

⑰ 高僧傳

⑱ 高野山文書

⑲ 天台座主記

十二

⑳ (康富) 康富記

㉑ 類聚符宣抄

㉒ 日本紀略

㉓ 常樂記

㉔ 細々要記

㉕ 執次詰所記

㉖ 皇胤紹運錄

㉗ (紹一本) 同上 尊卑分脉所收

㉘ (紹附) 本朝皇胤紹運附錄

㉙ (紹要) 紹運要錄

㉚ (紹續) 本朝皇胤紹運續錄

㉛ 將軍執權次第

㉜ 園大曆

㉝ 源平盛衰記

㉞ 御湯殿の上の日記

㉟ 閑院宮御系譜

㊱ 善隣國寶記

㊲ 雲井

十三

(雲上) 雲上明覽

御堂攝政記

勝尾山流記

十三

① 椿葉記

② 新葉和歌集

③ (嵯系) 後嵯峨院皇統系圖

十四

④ 僧官補任

⑤ 榮花物語

十五以上

⑥ 增鏡

⑦ 撰集抄

⑧ 歷代皇記

⑨ 親長卿記

⑩ 論號雜記

⑪ 舊事本紀

⑫ 濫觴抄

⑬ 薩戒記

⑭ 職原抄

(鎌日) 鎌倉大日記

⑮ 鎌倉松岡過去帳

⑯ 類聚國史

⑰ 扶桑禪林僧寶傳

⑱ 釋家官班記

⑲ 勸修寺長吏次第

⑳ 續日本紀

㉑ 櫻雲記

(續後) 續日本後紀

㉒ 懷風藻

㉓ 塵中抄

㉔ 應永王代記





纂輯御系圖

議官 福羽美靜 檢閱  
少書記官 横山由清  
大書記生 黒川眞頼 編纂

第一 神武天皇

神日本磐余彦火火出見尊 大和國高市郡畝傍橿原宮  
御父彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊、御母玉依姬命、庚午歲生、辛酉歲正月一日踐  
祚、建元、七十六年三月十一日崩、百廿七、葬畝傍山東北陵

第二 手研耳命 神八井耳命

母吾平津媛、日向吾田小椅若妹  
母媛踏鞴五十鈴媛命、事代主命女  
神淳名川耳尊 葛上郡葛城高丘宮

第三 綏靖天皇

母同、神武天皇廿九年生、庚辰歲正月八日踐祚、三十三年五月十日崩八十四、  
葬桃花鳥田岳上陵



研耳命 母同手研耳命

彦八井耳命 母同神八井耳命  
⑤一云神八井耳命子⑥

第三

安寧天皇

磯城津彥玉手尊 片鹽浮穴宮

母五十鈴依媛命、事代主命少女、綏靖天皇十五年生、壬子歲七月三日踐祚、三十八年十二月六日崩、(古事類)五十七、葬畝傍山西南御陰井上陵

息石耳命

⑤一名常根津彥伊呂泥命、母淳名底仲媛命、事代主命孫、鴨王女⑥

常津彥某兄命 母同國息石耳命同人

第四

懿德天皇

大日本彥桓友尊 輕曲峽宮

母同、綏靖天皇廿九年生、辛卯歲二月四日踐祚、三十四年九月八日崩、(古事類)七十七、葬畝傍山南織沙溪上陵

磯城津彥命 母同

第五

孝昭天皇

觀松彥香殖稻尊 葛上郡掖上池心宮

母天豐津媛命、息石耳命女、懿德天皇五年生、丙寅歲正月九日踐祚、八十三年八月五日崩、(古事類)百十四、葬掖上博多山上陵

多藝志比古命 一名石彥奇友背命 母同

天足彥國押人命

母世襲足媛命、天忍男命女

第六

孝安天皇

日本足彥國押人尊 室秋津島宮

母同、孝昭天皇四十九年生、己丑歲正月七日踐祚、百二年正月九日崩、(古事類)百三十七、葬玉手丘上陵

第七

孝靈天皇

大日本根子彥太瓊尊 城下郡黑田廬戶宮

母押媛命、天足彥國押人命女、孝安天皇五十一年生、辛未歲正月十二日踐祚、七十六年二月八日崩、(古事類)百廿八、葬片丘馬坂陵

大吉備諸進命

母同國孝靈天皇皇子、大吉備津彥命同人歟



第八

○孝元天皇

大日本根子彦國牽尊 高市郡輕境原宮

母細媛命、磯城縣主大目女、孝靈天皇十八年生、丁亥歲正月十四日踐祚、五十七年九月二日崩、百十六、葬輕劍池島上陵

千々速比賣命 母春日之千々速真若比賣命

倭迹々日百襲姫命 母倭國香媛命、亦名組某姉、和知都美命女

日子刺肩別命 母同

彦五十狹芹彦命 一名大吉備津彦命、母同

倭迹々日稚屋媛命 母同

彦狹島命 母組某弟、和知都美命女

稚武彦命 母同 一云若日子建吉備津日子命

弟 稚武命

母同國稚武彦命同人

大彦命

母鬱色謎命、穗積臣祖鬱色雄命妹

第九

○開化天皇

母日本根子彦大日日尊 添上郡春日率川宮

母同、孝元天皇七年生、甲申歲十一月十二日踐祚、六十年四月九日崩、百十一、葬春日率川阪上陵

彦太忍信命 母伊香色謎命、大綜麻杵命女

武埴安彦命 母埴安媛、河内青玉繫女

少彦武男心命 母同大彦命 一云少名日子建猪心命

倭迹々姫命 母同

彦湯產隅命 一名彦蔭實命、母竹野媛、丹波大縣主由基理女



第十 崇神天皇

御間城入彦五十瓊殖尊 山邊郡磯城瑞籬宮

母伊香色謎命、大綜麻杵命女、開化天皇十年生、甲申歲正月十三日即位、六十八年十二月五日崩、百十九、葬山邊道勾岡上陵

御眞津比賣命

母同

彦坐命

母姥津媛命、和珥臣遠祖姥津命妹

武豐葉類別命

母葛城鷓媛、垂見宿禰女

豐城入彦命

母遠津年魚眼々妙媛、紀伊國荒河河畔女

豐鍬入姫命

母同

第十一 垂仁天皇

活目入彦五十狹茅尊 城上郡纏向珠城宮

母御間城姫命、大彥命女、崇神天皇廿七年正月一日生、壬辰歲正月二日即位、九十九年七月十四日崩、百四十一、葬菅原伏見東陵

彦五十狹茅命

母同

大入杵命

母尾張大海媛、健諸隅妹

八坂入彦命

母同

淳名城入姫命

母同

十市瓊入姫命

母同

伊邪能眞稚命

母同垂仁天皇

國方姫命

母同

千々衝倭姫命

母同

倭彦命

母同

五十日鶴彦命

母同 一云伊賀比賣命



譽津別命 母狹穗姬命、彥坐命女

五十瓊敷入彥命 母日葉酢媛命、丹波道主王女

第十二 景行天皇 母同、垂仁天皇十七年生、辛未年七月十一日即位、六十年十一月七日崩、百四十三、葬山邊道上陵

大 中 姫 命 母同 一云大中津日子命

倭 姫 命 母同

稚城瓊入彥命 母同

鐸 石 別 命 母淳葉田瓊入媛命、丹波道主王女

膽 香 足 姫 命 母同 一云伊賀日子命

池 速 別 命 母蒨瓊入姫命、丹波道主王女 一云息速別命氏

稚 淺 津 姫 命 母同

袁 邪 辨 王 母迦具夜比賣命、大筒木垂根王女

祖 父 別 命 母苜幡戶邊、山背大國淵女

五 十 日 足 彥 命 母同

伊 登 志 別 王 母同

膽 武 別 命 母同 國伊登志別王同人歟

磐 衝 別 命 母弟苜幡戶邊、苜幡戶邊妹

兩 道 入 姫 命 母同、一名石衝比賣命

天 入 束 命 國崇神天皇皇子、六入杵命攝入歟



葦啾別命 國日本武尊子、葦敢窺見別命攪入歟

櫛角別王 母播磨稻日大郎姬、稚武彥命女

大碓皇子 母同

日本武尊 小碓尊、母同

第十三 成務天皇 稚足彥尊 近江國志賀郡志賀高穴穗宮

母八坂入媛命、八坂入彥命女、景行天皇十四年生、辛未歲正月五日踐祚、  
六十年六月十一日崩、百七、葬大和國添下郡狹城盾列池後陵

稚倭根子皇子 母同

五百城入彥皇子 母同

忍之別皇子 母同 自一云押別命

大酢別皇子 母同

淳熨斗皇女 母同

五百城入姬皇女 母同

淳名城皇女 母同

麁依姬皇女 母同

若木之入日子王 母同淳名城皇女及麁依姬皇女、(古事記云、此三子、又妾之子)

五十狹城入彥皇子 母同成務天皇

吉備兄彥皇子 母同

高城入姬皇女 母同



弟姫皇女 母同

五百野皇女 母瑞齒郎媛、三尾磐城別妹

神櫛皇子 母五十河媛

稻背入彦皇子 母同

武國凝別皇子 母高田媛、阿陪木事女

日向襲津彦皇子 母日向髮長大田根媛

國乳別皇子 母襲武媛

國背別皇子 一名宮道別皇子、母同

豐戸別皇子 母同

豐國別皇子 母日向御刀媛

眞若王 母稻日若郎女、稻日大郎姫妹

彥人大兄王 母同

大枝王 母河具漏比賣、須賣伊呂大中日子王女

國凝別皇子 母同國乳別皇子

豐戸皇子 母豐戸別皇子同人歟

吉備吉彦命 母吉備兄彦皇子同人歟

神櫛別命 母神櫛皇子同人歟

豐門入彦命



稚屋彦命  
 武國皇別命  
 天帶根命  
 大曾色別命  
 五十河彦命  
 石社別命  
 大稻背別命  
 武押別命  
 不知來入彦命

曾能目別命  
 十市入彦命  
 襲小橋別命  
 色已焦別命  
 熊津彦命  
 息前彦人大兄水城命  
 熊忍津彦命  
 櫛見皇命  
 武弟別命

一云息長彦人大兄瑞城命

神櫛皇子同人歟



草木命

稚根子命

兄彦命 國吉備兄彦皇子同人歟

宮道別命 國背別命同人

手事別命

大我門別命

豐日別命

三河宿禰命

豐手別命

倭宿禰命

豐津彦命

五百木根命

弟別命

五十功彦命 母五十琴姬命、物部膽咋女

大焦別命

沼代郎女 母妾國淳與斗皇女同人歟

銀王

氣入彦命



和訶奴氣王

母弟財郎女、穗積臣祖、建忍山垂根女

稻依別王

母兩道人姬命、垂仁天皇女

第十四  
仲哀天皇

足仲彥尊 長門國豐浦郡穴門豐浦宮

母同、成務天皇十九年生、壬申歲正月十一日踐祚、九年二月六日崩、五十二、葬河內國志紀郡惠賀長野西陵

布忍入姬命

母同

稚武王

母同

武彥王

母吉備穴戶武媛、吉備武彥女

十城別王

母同

稚武彥王

母弟橋媛、穗積忍山宿禰女

稻入別命

國稻依別王同人歟

武養蠶命

國武彥王同人

葦敢竈見別命

母山代玖々麻毛理比賣

息長田別命

母妾

五十目彥王命

伊賀彥王

武田王

佐伯命

蒲見別王

國葦敢竈見別命同人



麁坂皇子 母大中姬命、彦人大兄王女

忍熊皇子 母同

譽屋別皇子 母弟媛、來熊田造祖、大酒主女

第十五 應神天皇 譽田別尊 大和國高市郡輕原豐明宮

母神功皇后、息長宿禰王女、仲哀天皇九子庚辰二月六日踐祚、同年十二月十四日生、四十一年二月十五日崩、百一十一、葬惠賀藻伏岡陵

額田大中彥皇子 母高城入姬命、品陀真若王女、仲姬命姉

大山守皇子 母同

去來真稚皇子 母同

第十六 仁德天皇 大鷲鷄尊 攝津國東生郡難波高津宮 母仲姬命、品陀真若王女、應神天皇廿一年生、癸酉歲正月三日踐祚、八

十七年正月十六日崩、百一十三、葬和泉國大鳥郡百舌鳥耳原中陵

根鳥皇子 母同

菟道稚郎子皇子 母宮主宅媛、和珥臣祖、日觸使主女

母弟媛、河派仲彥王女

稚渟毛二派皇子 母同

大葉枝皇子 母日向泉長媛

小葉枝皇子 母同

隼總別皇子 母絲媛、櫻井田部連男鉦妹

幡日之若郎女 母同大葉枝皇子

迦多遲王 母迦具彌比賣

伊奢能麻和迦王 母去來真稚皇子同人



大原皇女 母同額田大中彥皇子  
 〔澆田〕皇女 母同〔國〕澆來田皇女同人  
 〔高目〕郎女 母同〔國〕澆來田皇女同人  
 荒田皇女 母同仁德天皇  
 淡路御原皇女 母弟姬、品陀真若王女、仲姬命妹  
 阿部皇女 母同  
 三野郎女 母同  
 矢田皇女 母同菟道稚郎子皇子  
 〔鳥〕皇女 母同一云八田若郎女  
 菟道稚郎姬皇女 母小甕媛、宅媛妹

紀之菟野皇女 母同淡路御原皇女  
 澆來田皇女 母同額田大中彥皇子國澆田皇女、高目郎女、同人  
 〔日一本〕  
 川原田郎女 母同迦多遲王  
 玉郎女 母同  
 忍坂大中比賣 母同  
 登富志郎女 母同

第十七

履仲天皇 大兄去來穗別尊 大和國十市郡磐余稚櫻宮  
 母磐之媛命、葛城襲津彥女 仁德天皇廿七年生、庚子歲二月一日踐祚、六年三月十五日崩、六十七、葬百舌鳥耳原南陵、  
 住吉仲皇子 母同



第十八

反正天皇

螻蛄齒別尊 河内國丹比郡丹比柴 籬宮

母同、仁德天皇四十年生、丙午歲正月二日踐祚、五年正月廿三日崩、六十、葬百舌鳥耳原北陵

第十九

允恭天皇

雄朝津間稚子宿禰尊 大和國高市郡遠飛鳥宮

母同、仁德天皇六十二年生、壬子歲十二月踐祚、四十二年正月十四日崩、八十、葬河内國志紀郡惠賀長野北陵

大草香皇子

一名波多毘能大郎子、母日向髮長媛、諸縣君牛諸井女

幡梭皇女

一名若日下命、母同

磐坂押羽皇子

母黑媛命 葦田宿禰女

御馬皇子

母同

青海皇女

母同

中磯皇女

母幡梭皇女

香火姬皇女

母津野媛、丸瀨臣木事女

圓皇女

母同

財皇女

母弟媛、津野媛妹

高部皇子

母同 一云多詞辨郎女

木梨輕皇子

母忍坂大中姬命、稚淳毛二派皇子女

安康天皇

穴穗尊 山邊郡石上穴穗宮 母同、履仲天皇二年生、癸巳歲十二月十四日踐祚、三年八月九日崩、五十六、葬大和國添下郡菅原伏見西陵

名形大娘皇女

母同

境黑彥皇子

母同



第二拾一 雄略天皇

大泊瀨幼武尊 城上郡泊瀨朝倉宮

母同、允恭天皇七年生、丙申歲十一月十三日踐祚、廿三年八月七日崩、六十二、葬河內國丹比郡高鷲原陵

輕大娘皇女

母同

八鈞白彥皇子

母同

但馬橋大娘皇女

母同

酒見皇女

母同

磐城皇子

母稚媛、吉備上道臣女

稚足姬皇女

一名栲幡娘姬皇女、母韓媛、葛城圓大臣女

第二十二 清寧天皇

白髮武廣國押稚日本根子尊 十市郡磐余薨栗宮  
母同、允恭天皇三十三年生、庚申年正月十五日踐祚、五年正月十六日崩、四十一、葬古市郡坂門原陵

星河稚宮皇子

母同磐城皇子

春日大娘皇女

一名高橋皇女、母童女君、和珥臣深目女

居夏姬

母黃媛、蟻臣女

忍海飯豐青尊

一名忍海部女王、母同、清寧崩後仁賢顯宗相讓不即位、仍其姊飯豐青姬自甲子歲二月令攝天下政 同 十一月崩、四十五

第二拾四

仁賢天皇

億計尊 山邊郡石上廣高宮

母同、允恭天皇三十八年生、戊辰歲正月五日踐祚、十一年八月八日崩、五十、葬丹比郡埴生阪本陵

第二拾三

顯宗天皇

弘計尊 高市郡近飛鳥八鈞宮

母同、允恭天皇三十九年生、乙丑歲正月一日踐祚、三年四月廿五日崩、三十八、葬大和國葛下郡傍丘磐杯丘南陵

橘

王

母同



第二拾五

武烈天皇

小泊瀬稚鷦鷯尊 城上郡泊瀬列城宮  
母春日大娘皇女、雄略天皇皇女、仁賢天皇二年生、戊寅歲十二月踐祚、八年十二月八日崩、十八、葬傍丘磐杯丘北陵

高橋大娘皇女

母同 一云高木郎女

朝孀皇女

母同 一云財郎女

樟氷皇女

母同

手白香皇女

母同

橘仲皇女

母同

真稚皇女

母同

春日山田皇女

一名赤見皇女、母糠君娘 和珥臣日瓜女

意富富杼王

母百師木伊呂辨、昨俣長日子王女

宇非王

母中斯知命

彦主人王

母久留比賣命、牟義都國造伊自牟良君女

繼體天皇

男大迹尊 十市郡磐余玉穗宮  
母振媛命、垂仁天皇六世孫乎波智君女、允恭天皇三十九年生、丁亥歲二月四日踐祚、廿五年二月七日崩、八十二、葬攝津國島上郡三島藍野陵

安閑天皇

母目子媛、尾張連草香女、雄略天皇十年生、辛亥歲二月七日踐祚、二年十月十七日崩、七十、葬河內國古市郡古市高屋丘陵

宣化天皇

武小廣國押盾尊 檜隈廬八野宮  
母同、雄略天皇十一年生、乙卯歲十二月踐祚、四年二月十日崩、七十三、葬大和國高市郡身狹花鳥坂上陵

欽明天皇

天國排開廣庭尊 山邊郡磯城島金刺宮  
母手白香皇女 仁賢天皇皇女、繼體天皇三年生、己未歲十二月五日踐祚



三十二年四月十五日崩六十三、葬檜隈坂合陵

大郎皇子 母稚子媛、三尾折折君妹

椀子皇子 母倭媛、三尾君堅櫛女

耳皇子 母同

厚皇子 母美媛、和珥臣河内女

鷓鴣皇子 母菟皇子同人

菟皇子 母廣媛、根王女

仲皇子 母同

出雲皇子 母同大郎皇子

荳角皇女 母麻績娘子、息長真手王女

神前皇女 母廣媛、坂田大跨王女

茨田皇女 母同

馬來田皇女 母同

茨田大娘皇女 母關媛、茨田連小望女

白坂活日姬皇女 母同

小野稚娘皇女 一名長石姬、又云長目賣、母同

大娘子皇女 母同椀子皇子

稚綾姬皇女 母同厚皇子

赤姬皇女 母同椀子皇子

圓娘皇女 母同厚皇子



〔豐〕 彥 王 〔國〕諸書天皇無胤

上殖葉皇子 一名椀子皇子、母橘仲皇女、仁賢天皇皇女

火焰皇子 母大河內稚子媛

石姬皇女 母同上殖葉皇子

小石姬皇女 母同

倉稚綾姬皇女 母同

〔山下〕日影皇女 母同國小石姬皇女同人歟

箭田珠勝大兄皇子 母石姬皇女、宣化天皇皇女

敏達天皇 淳名倉太珠敷尊 十市郡譯語田幸玉宮 母同、宣化天皇三年生、壬辰歲四月三日踐祚、十四年八月十五日崩、四十

石上皇子 八、葬河內國石川郡磯長中尾陵 母倉稚綾姬皇女、石姬皇女妹

倉皇子 母日影皇女、石姬皇女妹 日 一云宗賀之倉王

用明天皇 橘豐日尊 磐余池邊雙槻宮 母堅鹽媛、蘇我稻目大臣女、繼體天皇十三年生、乙巳歲九月五日踐祚、二

年四月九日崩、六十九、葬磯長原陵

橘麻呂皇子 母糠子媛、春日日柷臣女 一云麻呂王

獵子鳥皇子 母同用明天皇

推古天皇 豐御食炊屋姬天皇 高市郡小墾田宮 母同、欽明天皇十五年生、壬子歲十二月八日踐祚、三十六年三月七日崩、

七十五、葬磯長山田陵

椀子皇子 母同 一云麻呂子王



石上部皇子 母同 ①云伊美賀古王

山背皇子 母同

大伴皇女 母同

櫻井皇子 母同 ①云櫻井之立王

橋本稚皇子 母同

茨城皇子 母小姉君、堅鹽媛同母妹 ①云馬木王

葛城皇子 母同

泥部穴穗部皇女 母同 ①云間人穴太部王

泥部穴穗部皇子 一名住迹皇子、又云天香子皇子、母同 ①云三枝部穴太部王、又云須賣伊呂杵

宅部皇子 母同

第三拾二 崇峻天皇 泊瀬部若雀尊 十市郡倉梯宮

母同茨城皇子、繼體天皇十四年生丁未歲八月二日踐祚、五年十一月三日崩、七十三、葬大和國十市郡倉梯岡上陵

笠縫皇女 一名狹田毛皇女、母同箭田珠勝大兄皇子

春日山田皇女 母同橋麻呂皇子

磐隈皇女 一名夢皇女、母同用明天皇

大宅皇女 母同

肩野皇女 母同 ①云麻奴王

舍人皇女 母同



菟道貝鮪皇女

一名菟道磯津貝皇女、母推古天皇  
①②一云靜貝王⑤

竹田皇子

母同  
①⑤一云小貝王⑤

小墾田皇女

母同  
①⑤

葛城王

母同  
⑤

尾張皇子

母同  
①⑤

押坂彥人大兄皇子

一名麻呂古皇子、母廣姬、息長眞手王女  
①⑤

春日皇子

母老女子娘、春日臣仲君女  
①⑤

大派皇子

母同  
①⑤

難波皇子

母同  
①⑤

鷓鴣守皇女

一名輕守皇女、母同菟道貝鮪皇女  
①⑤

田眼皇女

母同  
①⑤

櫻井弓張皇女

母同  
①⑤

太姬皇女

一名櫻井皇女、母兔名子娘、伊勢大鹿首小熊女  
①⑤

糠手姬皇女

一名田村皇女、母同  
①⑤一云寶王⑤

逆登皇女

母同押坂彥人大兄皇子  
①⑤

菟道磯津貝皇女

母同  
①⑤一云遲王⑤

桑田皇女

母同春日皇子  
①⑤

豐聰耳聖德皇子

母間人穴穗部皇女、欽明天皇皇女、推古天皇元年四月立太子、  
同廿九年二月薨、四十九、①⑤一云上宮之厩戶豐聰耳命⑤



來目皇子母同  
 殖栗皇子母同  
 茨田皇子母同  
 田目皇子一名豐浦皇子、母石寸名媛、蘇我稻目大臣女  
 麻呂子皇子一名當麻皇子、母廣子、葛城直磐村女  
 醉香手姬皇女母同 一云須賀志呂古郎女  
 高向皇子國用明天皇孫高向王誤載歟、但高向王之父無所傳  
 久米王國來目皇子同人  
 蜂子皇子母小手子媛、大伴糠手連女  
 錦代皇女母同

第三拾四 舒明天皇

息長足日廣額天皇 高市郡高市岡本宮  
 母糠手姬皇女、敏達天皇皇女、推古天皇元年生、己丑歲正月四日踐祚、十三年十月九日崩、四十九、葬城上郡押坂內陵

中津王母同  
 多良王母同  
 茅渟王母大俣女王、漢王妹  
 桑田女王母同  
 山代王母櫻井弓張皇女、敏達天皇皇女  
 笠縫王母同

第三拾五 皇極天皇

天豐財重日足姬天皇 飛鳥板蓋宮  
 母吉備姬王、櫻井皇子女、推古天皇二年生、壬寅歲正月十五日踐祚、四年



六月十四日讓位

第三拾七

齊明天皇

皇極天皇重祚 後飛鳥岡本宮

乙卯歲正月三日再祚、辛酉歲七月廿四日崩、六十八、葬越智岡上陵

第三拾六

孝德天皇

天萬豐日天皇 攝津國西成郡難波長柄豐崎宮

母同、推古天皇四年生、乙巳歲六月十四日踐祚、白雉五年十月十日崩、五十九、葬河內國石川郡大坂磯長陵

有間皇子

母小足媛、阿倍倉梯麻呂大臣女

第三拾八

天智天皇

天命開別天皇 近江國滋賀郡大津宮

母皇極天皇、推古天皇廿二年生、辛酉歲七月踐祚、戊辰歲正月三日即位、辛未歲十二月三日崩、五十八、葬山城國宇治郡山科陵

第四拾

天武天皇

天淳中原瀛真人天皇 大和國高市郡飛鳥淨御原宮

母同、推古天皇三十年生、壬申歲七月廿三日踐祚、癸酉歲二月廿七日即位、朱鳥元年九月九日崩、六十五、葬大和國高市郡檜隈大內陵

古人大兄皇子

一名古人大市皇子、母法提郎媛、蘇我馬子大臣女

蚊屋皇子

母吉備國蚊屋采女姉子娘

間人皇女

母同天智天皇

布敷皇女

母同古人大兄皇子

押坂錦間皇女

母香櫛娘

箭田皇女

母手杯娘

第四拾一

持統天皇

高天原廣野姬天皇 藤原宮

母蘇我越智娘、右大臣倉山田石川麻呂女、孝德天皇大化元年生、朱鳥元年九月九日踐祚、庚寅歲正月一日即位、丁酉歲八月一日讓位、大寶二年十二月廿二日崩、五十八、葬檜隈大內陵

第四拾三

元明天皇

日本根子天津御代豐國成姬天皇 添上郡平城宮

母蘇我姪娘、越智娘妹、齊明天皇七年生、慶雲四年六月十五日踐祚、同年七月十七日即位、靈龜元年九月三日讓位、養老五年十二月七日崩、六十一、



葬添上郡奈保山東陵

建皇子 母同持統天皇

第三拾九

弘文天皇

大友

近江國滋賀郡大津宮

母伊賀采女宅子娘、大化四年生、辛未歲十二月五日踐祚、壬申歲七月廿三日崩、廿五、葬近江國滋賀郡長等山山前

葛野王

母十市皇女、天武天皇皇女

壹志姬王

母藤原耳面刀自、內大臣鎌足女

與多王

母不詳賜大友姓

施基皇子

母道君伊羅都賣

追尊春日宮天皇又稱田原天皇

大田皇女

母同持統天皇

御名部皇女

母同元明天皇

飛鳥皇女

母阿倍橋娘、左大臣倉梯麻呂女

新田部皇女

母同

山邊皇女

母蘇我常陸娘、左大臣赤兄女

大江皇女

母忍海造小龍女、色夫古娘

川島皇子

母同

泉皇女

母同

水主皇女

母粟隈首德萬女、黑媛娘

草壁皇子尊

追尊岡宮天皇、母持統天皇、天武天皇十年立太子、持統天皇三年四月十三日薨、廿八



大來皇女 母大田皇女、天智天皇皇女

大津皇子 母同

長親王 母大江皇女、天智天皇皇女

舍人親王 母同  
遵尊崇道盡敬皇帝、母新田部皇女、天智天皇皇女

但馬皇女 母藤原冰上娘、內大臣鎌足女

弓削皇子 母同長親王

新田部親王 母藤原五百重媛、冰上娘妹

鹽燒王 母不詳

道祖王 母不詳、天平勝寶八年立太子、天平寶字元年廢位

穗積親王 母蘇我大甕娘、左大臣赤兄女

紀皇女 母同  
母一云多紀皇女

田形皇女 母同

十市皇女 母額田姬王、鏡王女

高市皇子 後皇子尊、母胸形君德善女、尼子娘、立太子年月不詳、持統天皇十年七月十日薨、三十日

忍壁親王 母穴人臣大麻呂女檜媛

磯城皇子 母同

泊瀨部皇女 母同

託基皇女 母同

皇 母未詳



第四拾四

元正天皇

日本根子高瑞淨足姬天皇 添上郡平城宮  
母元明天皇、天武天皇八年生、靈龜元年九月三日踐祚、同日即位、神龜元年二月四日讓位、天平廿年四月廿一日崩、六十九、葬添上郡奈保山西陵  
天之眞宗豐祖父天皇 大和國高市郡藤原宮

第四拾二

文武天皇

母同、天武天皇十一年生、丁酉歲八月一日踐祚、同日即位、慶雲四年六月十五日崩、廿五、葬檜隈安占岡上陵

吉備內親王

母不詳

第四十五

聖武天皇

天璽國押開豐櫻彥天皇 平城宮  
母藤原宮子娘、贈太政大臣不比等女、大寶元年生、神龜元年二月四日踐祚、同日即位、天平勝寶元年七月二日讓位、天平勝寶八年五月二日崩、五十六、葬佐保山南陵

開成王

光仁天皇皇子、桓武天皇庶兄、宜削去

第四拾六

孝謙天皇

阿倍平城宮  
母藤原安宿媛、贈太政大臣不比等女 養老二年生、天平勝寶元年七月二日

第四拾八

稱徳天皇

日踐祚、同日即位、天平寶字二年八月一日讓位  
孝謙天皇重祚、稱高野天皇 平城宮  
天平寶字八年十月九日再祚、天平神護元年正月一日即位、寶龜元年八月四日崩、五十三、葬添下郡高野陵

皇子

基王、母同、神龜四年閏九月生、十一月立太子、五年九月薨、二

井上內親王

母縣犬養廣刀自、讚岐守唐女

淺香皇子

安積親王同人

安積親王

母同

不破內親王

母同

第四拾七

淳仁天皇

大炊平城宮  
母當麻山背、上總守老女、天平五年生、天平寶字二年八月一日踐祚、同日即位、同八年十月九日廢位、天平神護元年十月二十三日崩、三十三、葬淡路國三原郡淡路陵



女 王 母不詳  
①一云安陪內親王 ②國一代要記所載山於女王同人歟

三原王 母不詳

三使王 母不詳

三島王 母不詳

船王 母不詳

池田王 母不詳

式部王 國守部王同人歟

守部王 母不詳

出木井王 母不詳

貞代王 母不詳

室內親王 母不詳

飛鳥田親王 母不詳

第四拾九 光仁天皇 天宗高紹天皇 平城宮

母紀橡姬、贈太政大臣諸人女、和銅二年十月十三日生、寶龜元年八月四日踐祚、同年十月一日即位、天應元年四月三日讓位、同年十二月廿三日崩、七十三、葬大和國添上郡田原東陵

湯原親王 母不詳

海上女王 母不詳

榎井親王 母不詳

春日王 母不詳 一云母託基內親王



壹志王 母不詳

衣縫內親王 母不詳

難波內親王 母同光仁天皇

坂合部內親王 母不詳

第五拾 桓武天皇

日本根子皇統彌照天皇 山城國平安宮

母高野新笠、贈太政大臣乙繼女、天平九年生、天應元年四月三日踐祚、同月十五日即位、大同元年三月十七日崩、七十、葬山城國紀伊郡栢原陵

早良親王 母同、天應元年四月立太子、延曆四年十月廢位左遷于淡路國道薨、年三十六

母尾張女王、湯原親王女

他戶親王 母井上內親王、聖武天皇皇女、寶龜二年正月立太子、同三年五月廢位、同六年四月薨、二十

母同

酒人內親王

能登內親王 母同桓武天皇

彌奴摩內親王 母縣主毛人女島媛

廣根朝臣諸勝 母縣犬養男耳

僧開成 母不詳 (勝尾山流記)

第五拾一 平城天皇

日本根子天推國高彥天皇

母藤原乙牟漏、贈太政大臣良繼女、寶龜五年八月十五日生、大同元年三月十八日踐祚、同年五月十八日即位、同四年四月一日讓位、天長元年七月七日崩、五十一、葬大和國添上郡楊梅陵

第五拾二 嵯峨天皇

神野

母同、延曆五年九月七日生、大同四年四月一日踐祚、同月十三日即位、弘仁十四年四月十七日讓位、承和九年七月十五日崩、五十七、葬山城國葛野郡嵯峨院北山陵



第五十三 淳和天皇

日本根子天高讓彌遠天皇

母藤原旅子、贈太政大臣百川女、延曆五年生、弘仁十四年四月十七日踐祚、同月廿八日即位、天長十年二月廿八日讓位、承和七年五月八日崩、五十五、葬乙訓郡物集陵

伊豫親王 母藤原吉子、右大臣是公女

葛原親王 母多治比真宗、參議長野女

佐味親王 母同

賀陽親王 母同

大野親王 母同 皇代記云大德親王

萬多親王 母藤原小尿、中務大輔鷺取女

明日香親王 母紀若子、贈右大臣船守女

葛井親王 母坂上春子、大納言田村麻呂女

仲野親王 母藤原河子、從四位上大繼女

太田親王 母百濟教仁、從五位上武鏡女

坂本親王 母川上貞好、從五位下錦部春人女

高志內親王 母同平城天皇

朝原內親王 母酒人內親王、光仁天皇皇女

因幡內親王 母同葛原親王

安濃內親王 母同

甘南美內親王 母藤原東子、中納言種繼女

大宅內親王 母橘常子、兵部大輔島田麻呂女



滋野内親王 母藤原上子、大納言小黒麻呂女  
 伊登内親王 母藤原南子、中納言乙叡女  
 春日内親王 母坂上春子  
 高津内親王 母坂上全子、左京大夫菊田麻呂女  
 (續後)  
 賀樂内親王 母橋御井子、左中辨入居女  
 菅原内親王 母同  
 安勅内親王 母同仲野親王  
 大井内親王 母同  
 紀伊内親王 母同  
 駿河内親王 母百濟貞香、從四位下教徳女

善原内親王 母同仲野親王  
 池上内親王 母橋田村子、左中辨入居女  
 布勢内親王 母中臣豐子、正六位上大魚女  
 長岡朝臣岡成 母多治比麿繼繼  
 良峯朝臣安世 母百濟永繼、正五位上飛鳥部奈止丸女  
 僧 堪 久 母不詳  
 (東大寺要録)

高岳親王 母伊勢繼子、木工頭老人女、大同四年四月十三日立太子、弘仁元年九月十二日廢位  
 巨勢親王 母同  
 阿保親王 母香長藤繼、正五位下道依女  
 (續後)



上毛野内親王 母同高岳親王 ⑤

石上内親王 母同 (續後) ⑤

大原内親王 母同 ⑤

叡奴内親王 母紀魚員、從三位木津魚女 (續後) ⑤

第五拾四

仁明天皇

日本根子天璽豐聰慧天皇

母橘嘉智子、贈太政大臣清友女、弘仁元年生、天長十年二月廿八日踐祚、同年三月六日即位、嘉祥三年三月廿一日崩、四十一、葬紀伊郡深草陵

秀良親王 母同 (續後) ⑤

業良親王 母高津内親王、桓武天皇皇女 ⑤

基良親王 母百濟貴命、鎮守將軍俊哲女 ⑤

忠良親王 母同 ⑤

正子内親王 母同仁明天皇 ⑤

秀子内親王 母同 (續後) ⑤

俊子内親王 母同 (皇代記) ⑤ 一云綾子(逸史) 一云後子 ⑤ (帝系)

芳子内親王 母同 (續後)

繁子内親王 母同 ⑤

業子内親王 母同業良親王 ⑤

基子内親王 母同基良親王 ⑤

宗子内親王 母高階河子、從四位上淨階女 ⑤

有智子内親王 母交野女王、從五位上山口女王 (續後) ⑤

仁子内親王 母大原淨子、正六位上家繼女 ⑤



純子內親王 母文室文子、正五位下久賀麻呂女

齊子內親王 母同

淳王 母不詳

源朝臣信 母廣井氏

源朝臣弘 母上毛野氏

源朝臣常 母飯高宅刀自

源朝臣寬 母安倍楊津

源朝臣明 母同源常

源朝臣定 母百濟慶命、鎮守將軍教俊女、淳和天皇養子

源朝臣鎮 母同 (續後)

源朝臣生 母笠繼子

源朝臣澄 母田中氏

源朝臣安 母栗田氏

源朝臣清 母秋篠高子

源朝臣融 母大原金子、仁明天皇養子 (續後)

源朝臣勤 母同

源朝臣勝 母惟良氏

源朝臣啓 母山田近子

源朝臣賢 母長岡氏

源朝臣繼 母不詳



源朝臣貞姬 母布勢氏  
 源朝臣潔姬 母當麻氏、正六位上治田麻呂女  
 源朝臣全姬 母同  
 源朝臣善姬 母百濟氏  
 源朝臣更姬 母紀氏  
 源朝臣若姬 母百濟氏  
 源朝臣神姬 母內藏氏  
 源朝臣盈姬 母同源融  
 源朝臣聲姬 母甘南備氏  
 源朝臣容姬 母同源神姬

源朝臣端姬 母同源貞姬  
 源朝臣吾姬 母同源神姬  
 源朝臣密姬 母同源啓  
 源朝臣良姬 母不詳  
 源朝臣年姬 母不詳  
 恒世親王 母高志內親王、桓武天皇皇女  
 恒貞親王 母正子內親王、嵯峨天皇皇女、天長十年二月立太子、承和九年七月廢位、元慶八年九月薨、六十(續後)  
 恒統親王 母同  
 基貞親王 母同  
 良貞親王 母大中臣安子、神祇大副淵魚女



氏子内親王 母同恒世親王

有子内親王 母同

貞子内親王 母同 (續後)

寬子内親王 母大野鷹子、左近衛中將眞雄女

崇子内親王 母橋船子、從四位上淨野女 (續後)

同子内親王 母丹堀池子、從五位上門成女 (皇代記) 一云國子 (帝系)

明子内親王 母清原春子、右大臣夏野女

統朝臣忠子 母不詳 一云就子 一云熟子 (皇代記)

皇 子 母同恒貞親王

皇 子 母同

皇 子 母同 (續後)

第五拾五 文德天皇 道康

母藤原順子、贈太政大臣冬嗣女、天長四年八月生、嘉祥三年三月廿一日踐祚、同年四月十七日即位、天安二年八月廿七日崩、三十二、葬葛野郡田邑陵

宗康親王 母藤原澤子、贈太政大臣總繼女 (續後)

第五拾八 光孝天皇 時康

母同、天長七年生、元慶八年二月四日踐祚、同月廿三日即位、仁和三年八月廿六日崩、五十八、葬葛野郡後田邑陵

人康親王 母同

本康親王 母滋野繩子、參議貞主女

國康親王 母藤原賀登子、肥前守福當麻呂女



常康親王 母紀種子、正四位下名虎女  
 成康親王 母藤原貞子、右大臣三守女  
 時子內親王 母同本康親王  
(續後)  
 新子內親王 母同宗康親王  
(續後)  
 柔子內親王 母同本康親王  
 眞子內親王 母同常康親王  
 親子內親王 母同成康親王  
 平子內親王 母同  
 重子內親王 母藤原小童子、從五位下道長女  
 久子內親王 母高宗女王、從四位上岡屋王女

高子內親王 母百濟永慶從五位上教復女  
一云亮子(續後) (皇系)  
 源朝臣多 母不詳  
(續後)  
 源朝臣冷 母不詳  
 源朝臣光 母不詳  
 源朝臣効 母不詳  
 源朝臣覺 母山口氏  
 貞朝臣登 母三國氏  
 忠子 母淳和天皇皇女統朝臣忠子同人  
 皇子 母同本康親王



惟喬親王 母紀靜子、正四位下名虎女

惟條親王 母同

惟彥親王 母滋野與子、參議貞主女

第五拾六

清和天皇

惟仁

母藤原明子、太政大臣良房女、嘉祥三年三月廿五日生、天安二年八月廿七日踐祚、同年十一月七日即位、貞觀十八年十一月廿九日讓位、元慶四年十二月四日崩、三十一、葬葛野郡水尾山陵

惟恒親王 母藤原今子、參議貞守女

儀子內親王 母同清和天皇

恬子內親王 母同惟喬親王

述子內親王 母同

濃子內親王 母同惟彥親王

勝子內親王 母同

禮子內親王 母同惟恒親王

揭子內親王 母同  
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (二中歷) 一云楊子 (帝系)

晏子內親王 母藤原列子、從五位上是雄女

慧子內親王 母同

珍子內親王 母同惟喬親王

源朝臣能有 母伴氏

源朝臣每有 母丹堀氏

源朝臣時有 母清原氏



源朝臣本有

母滋野岑子、攝津守貞雄女

源朝臣定有

母菅原氏

源朝臣載有

母同源本有

源朝臣行有

母布勢氏

源朝臣富有

母不詳

源朝臣憑子

母不詳

源朝臣謙子

母不詳

源朝臣奧子

母不詳

源朝臣列子

母不詳

源朝臣濟子

母不詳

源朝臣富子

母同源定有

源朝臣淵子

母同源本有  
一云滋子○(帝系)

源朝臣脩子

母不詳  
○源朝臣濟子同人歟

柄子女王

以下三女源氏系圖爲能有子宜剛

嚴子女王

○

照子女王

○

第五拾七

陽成天皇

貞明

母藤原高子、贈太政大臣長良女、貞觀十年十二月十六日生、同十八年十一月廿九日踐祚、元慶元年正月三日即位、同八年二月四日遜位、天曆三年九月廿九日崩、八十二、葬愛宕郡神樂岡東陵

貞固親王

母橘氏、治部大輔休蔭女



貞元親王 母藤原氏、參議仲統女  
 貞平親王 母藤原氏、神祇伯良近女  
 貞保親王 母同陽成天皇  
 貞純親王 母王氏、中務大輔棟貞玉女  
 貞辰親王 母藤原佳珠子、太政大臣基經女  
 貞數親王 母在原氏、中納言行平女  
 貞眞親王 母藤原氏、齋宮頭諸藤女  
 貞賴親王 母藤原氏、木工權大允直宗女  
 孟子內親王 母藤原氏、中納言諸葛女  
 包子內親王 母同貞數親王

敦子內親王 母同陽成天皇  
 識子內親王 母同貞平親王  
 源朝臣長猷 母賀茂氏、越中守峯雄女  
 源朝臣長淵 母大野氏、石見守鷹取女  
 源朝臣長鑿 母佐伯氏、信濃權介子房女  
 源朝臣長賴 母同  
 源朝臣載子 母同源長猷

元良親王 母藤原氏、主殿頭遠長女  
 元平親王 母同



元長親王 母姉子女王

元利親王 母同

長子內親王 母同

儼子內親王 母同

源朝臣清蔭 母紀氏

源朝臣清鑒 母伴氏

源朝臣清遠 母佐伯氏

是忠親王 母班子女王、仲野親王女

是貞親王 母同

第五拾九 宇多天皇 母同、貞觀九年五月五日生、仁和三年八月廿六日踐祚、同年十一月十七日

即位、寬平九年七月三日讓位、承平元年七月十九日崩、六十五、葬葛野郡宇多大內山陵

忠子內親王 母同

簡子內親王 母同

綏子內親王 母同

繁子內親王 母不詳

穆子內親王 母王氏、參議正如王女

爲子內親王 母同是忠親王

源朝臣近善 母不詳

源朝臣貞恒 母不詳

源朝臣國紀 母不詳



源朝臣是茂 〔國大納言源昇男、光孝天皇養子〕

源朝臣元長 母同是忠親王

源朝臣兼善 母不詳

源朝臣名實 母不詳

源朝臣舊鑒 母讚岐氏、大判事永直女

源朝臣篤行 母不詳

源朝臣最善 母不詳

源朝臣音恆 母不詳

源朝臣是恒 母不詳

源朝臣成蔭 母不詳

源朝臣香泉 母不詳

源朝臣友貞 母不詳

滋水朝臣清實 母布勢氏

源朝臣遲子 母不詳

源朝臣緩子 母丹治氏

源朝臣麗子 母不詳

源朝臣奇子 母不詳

源朝臣崇子 母不詳

源朝臣連子 母不詳

源朝臣禮子 母不詳



源朝臣最子 母不詳

源朝臣偕子 母不詳

源朝臣默子 母不詳 一云點子(帝系)

源朝臣是子 母不詳

源朝臣並子 母不詳

源朝臣謙子 母不詳

源朝臣深子 母不詳

源朝臣周子 母不詳

源朝臣密子 母不詳 一云蜜子(紹一本)

源朝臣和子 母不詳

源朝臣快子 母不詳

源朝臣善子 母不詳

源朝臣秩子 母不詳 一云源子 一云禧子(紹一本)

僧空性 母不詳

第六十 醍醐天皇 敦仁

母藤原胤子、贈太政大臣高藤女、仁和元年正月十八日生、寬平九年七月三日踐祚、同月十三日即位、延長八年九月二十二日讓位、同月二十九日崩、四十六、葬宇治郡後山科陵

齊中親王 母橘義子、參議廣相女

齊世親王 母同

敦慶親王 母同醍醐天皇



雅明親王 母藤原養子、贈太政大臣時平女、醍醐天皇養子

敦固親王 母同醍醐天皇 (西裏)

齊邦親王 母同齊中親王

載明親王 母同雅明親王

敦實親王 母同醍醐天皇 (大裏)

行中親王 母不詳 (扶裏)

行明親王 母同雅明親王、醍醐天皇養子

均子內親王 母藤原温子、太政大臣基經女

柔子內親王 母同醍醐天皇

君子內親王 母同齊中親王

孚子內親王 母王氏、參議十世王女

皇子 母藤原氏、大和守繼蔭女 (伊勢家集)

依子內親王 母源貞子、大納言昇女

成子內親王 母不詳

誨子內親王 母藤原氏、參議有實女

季子內親王 母同

源朝臣順子 母不詳 (紹一本) (帝系圖) (帝系) (皇系)

源朝臣臣子 母不詳

克明親王 丹源封子、左京大夫舊監女

保明親王 文獻彥太子、母藤原穩子、太政大臣基經女、延喜四年二月立太子、延長元年三月廿一日薨、廿一



慶 賴 王

王

母藤原仁善子、贈太政大臣時平女、延長元年四月立太子 同三年六月十九日薨、五（抄）

代 明 親 王

王

母藤原鮮子、伊豫介連永女（終）

重 明 親 王

王

母源貞子、大納言昇女（扶）

常 明 親 王

王

母源和子、光孝天皇皇女（終）

式 明 親 王

王

母同（終）

有 明 親 王

王

母同（終）

時 明 親 王

王

母源周子、右大辨唱女（終）

長 明 親 王

王

母藤原淑姬、參議菅根女（終）

雅 明 親 王

王

實字多天皇皇子、出于上（終）

第六十一

朱雀 天 皇

寬明

母同文献彦太子、延長元年七月廿四日生、同八年九月廿二日踐祚 同年十一月廿一日即位、天慶九年四月廿日讓位、天曆六年八月十五日崩、三十、葬宇治郡醍醐陵

昌子 內 親 王

母熙子女王、文献彦太子女（扶）

行 明 親 王

實字多天皇皇子（終）

章 明 親 王

母藤原桑子、中納言兼輔女（終）

第六十二

村 上 天 皇

成明

母同文献彦太子、延長四年六月二日生、天慶九年四月廿日踐祚、同月廿八日即位、康保四年五月廿五日崩、四十二、葬葛野郡村上陵

盛 明 親 王

母同時明親王（終）

兼 明 親 王

母同長明親王（終）



勸子内親王 母爲子内親王、光孝天皇皇女  
 宣子内親王 母同克明親王  
 恭子内親王 母同代明親王 一云泰子(帝系)  
 慶子内親王 母同常明親王  
 勤子内親王 母同時明親王  
 都子内親王 母同 一云郁子(皇系)  
 婉子内親王 母同代明親王  
 修子内親王 母滿子女王、民部大輔輔相王女  
 敏子内親王 母同代明親王  
 雅子内親王 母同時明親王

普子内親王 母同修子内親王  
 靖子内親王 母同克明親王  
 韶子内親王 母同常明親王  
 康子内親王 母同又献彦太子  
 齊子内親王 母同常明親王  
 英子内親王 母同長明親王  
 源朝臣高明 母同時明親王  
 源朝臣自明 母同長明親王  
 源朝臣允明 母源氏、左兵衛佐敏相女  
 源朝臣爲明 母藤原氏、參議伊衡女



源朝臣兼子 母同時明親王

源朝臣嚴子 母不詳

童子 母不詳

廣平親王 母藤原祐姬、大納言元方女

第六十三 冷泉天皇

母藤原安子、右大臣師輔女、天曆四年五月廿四日生、康保四年五月廿五日踐祚、同年十月十一日即位、安和二年八月十三日讓位、寬弘八年十月廿四日崩、六十二、葬愛宕郡櫻本陵

致平親王 母藤原正妃、左大臣在衡女

為平親王 母同冷泉大皇

第六十四 圓融天皇

母同、天德三年三月二日生、安和二年八月十三日踐祚、同年九月廿三日

昌平親王 母藤原芳子、左大臣師尹女

具平親王 母莊子女王、代明親王女

永平親王 母同昌平親王

昭平親王 母同致平親王

承子內親王 母同冷泉天皇

理子內親王 母源計子、中納言庶明女

保子內親王 母同致平親王

規子內親王 母徽子女王、重明親王女

盛子內親王 母同理子內親王

即位、永觀二年八月廿七日讓位、正曆二年二月十二日崩、三十三、葬葛野郡後村上陵



樂子內親王 母同具平親王  
 輔子內親王 母同冷泉天皇  
 緝子內親王 母同廣平親王  
 資子內親王 母同冷泉天皇  
 選子內親王 母同  
 皇子 母同規子內親王  
 皇女 母同冷泉天皇

第六拾五 花山天皇

モロサカ  
師貞  
 母藤原懷子、太政大臣伊尹女、安和元年十月二十六日生、永觀二年八月廿七日踐祚、同年十月十日即位、寬和二年六月廿三日遜位、寬弘五年二月八日崩、四十一、葬葛野郡紙屋川上法音寺北陵

清仁親王 母平氏、若狹守祐之女、冷泉天皇養子  
 昭登親王 母平平子、若狹守祐忠女、冷泉天皇養子  
 僧深觀 母不詳(東別)  
 僧覺源 母不詳(東任)  
 皇女 母同清仁親王  
 皇女 母同  
 皇女 母同昭登親王  
 皇女 母同

第六拾七 一條天皇

ナカサカ  
居貞  
 母藤原超子、太政大臣兼家女、天延四年正月三日生、寬弘八年六月十三



日踐祚、同年十月十六日即位、長和五年正月廿九日讓位、寬仁元年五月九日崩、四十二、葬葛野郡北山陵

爲尊親王 母同

敦道親王 母同

宗子內親王 母同花山天皇

尊子內親王 母同

光子內親王 母同三條天皇

小一條院

アツキヲ 敦明親王、母藤原娥子、贈太政大臣濟時女、長和五年正月廿九日立太子  
寬仁元年八月九日辭位、即日院號、永承六年正月八日崩、五十八

敦貞親王 母藤原延子、右大臣顯光女、三條天皇養子

敦元親王 母藤原改子、太政大臣道長女、三條天皇養子

儂子內親王 母同、三條天皇養子

嘉子內親王 母不詳、三條天皇養子

齊子女王 母源氏、下野守政隆女

源朝臣基平 母藤原氏、右大臣賴宗女

源朝臣信宗 母同齊子女王

源朝臣顯宗 母不詳

源朝臣當宗 母不詳

僧行觀 母不詳

僧聖珍 母不詳

敦昌親王 母同敦貞親王



敦賢親王 母河源基平

榮子內親王 母同敦貞親王、三條天皇養子

王 母同敦元親王

王 母同

王 母同齊子女王

敦儀親王 母同小一條院

敦平親王 母同

師明親王 母同、小一條院養子

當子內親王 母同大裏

禊子內親王 母同

陽明門院 禊子內親王、母藤原研子、太政大臣道長女

儂子內親王 實小一條院子、見子上

敦貞親王 同上

敦昌親王 同上

敦元親王 同上

敦賢親王 同上

嘉子內親王 同上

榮子內親王 同上

第六拾六條 天皇

懷仁  
母藤原詮子、太政大臣兼家女、天元三年六月一日生、寬和二年六月廿三日



踐祚、同年七月廿二日即位、寬弘八年六月十三日讓位、同月廿二日崩、三十二、葬葛野郡圓融寺北陵

敦康親王

母藤原定子、內大臣道隆女

第六拾八 後一條天皇

敦成

母藤原彰子、太政大臣道長女、寬弘五年九月十一日生、長和五年正月廿九日踐祚、同年二月七日即位、長元九年四月十七日崩、廿九、葬愛宕郡善提樹院陵

二條院

章子內親王、母藤原威子、太政大臣道長女

馨子內親王

母同

第六拾九 後朱雀天皇

敦良

母同後一條天皇、寬弘六年十一月廿五日生、長元九年四月十七日踐祚、同年七月十日即位、寬德二年正月十六日讓位、同月十八日崩、三十七、葬葛野郡圓融寺陵

脩子內親王

母同敦康親王

媯子內親王

母同

第七拾 後冷泉天皇

親仁

母藤原嬉子、太政大臣道長女、萬壽二年八月三日生、寬德二年正月十六日踐祚、同年四月八日即位、治曆四年四月十九日崩、四十四、葬葛野郡圓融寺陵

皇

子 母藤原歡子、太政大臣教通女

第七拾一 後三條天皇

尊仁

母陽明門院禎子、三條天皇皇女、長元七年七月十八日生、治曆四年四月十九日踐祚、同年七月廿一日即位、延久四年十二月八日讓位、同五年五月七日崩、四十、葬葛野郡圓融寺陵

良子內親王

母同



娟子內親王 母同  
 祐子內親王 母藤原孀子、式部卿敦康親王女、太政大臣賴通養女  
 禰子內親王 母同  
 正子內親王 母藤原延子、右大臣賴宗女

第七拾二 白河天皇 貞仁

實仁親王 母藤原茂子、贈太政大臣能信女、實中納言公成女、天喜元年六月二十日生、延久四年十二月八日踐祚、同月廿九日即位、應德三年十一月廿六日讓位、大治四年七月七日崩、七十七、葬紀伊郡鳥羽成菩提院御塔  
 十五  
 輔仁親王 母同  
 聰子內親王 母同白河天皇

俊子內親王 母同  
 佳子內親王 母同  
 篤子內親王 母同  
 皇 子 母藤原氏、近江守實經女  
 皇 子 母馨子內親王、後一條天皇皇女  
 皇 子 母同  
 皇 女 母同  
 藤原有佐 母某氏、美濃守經國女、藤原顯綱養子

敦文親王 母藤原賢子、太政大臣師實女、實右大臣源顯房女



第七拾三

堀河天皇

善仁

母同、承曆三年七月九日生、應德三年十一月廿六日踐祚、同年十二月十九日即位、嘉承二年七月十九日崩、二十九、葬葛野郡後圓教寺陵

覺行法親王

母藤原經子、從三位經平女

覺法法親王

母源師子、右大臣顯房女

聖惠法親王

母藤原氏、參議師兼女

郁芳門院

母同敦文親王、母同敦文親女

善子內親王

母藤原道子、內大臣能長女

令子內親王

母同敦文親王

禎子內親王

母同  
一云禎子(帝系圖)(皇系)

恂子內親王

母藤原氏、木工頭季實女  
一云恂子(帝系圖)

第七拾四

鳥羽天皇

宗仁

母藤原茨子、贈太政大臣實季女、康和五年正月十六日生、嘉承二年七月十九日踐祚、同年十二月一日即位、保安四年正月廿八日讓位、保元元年七月二日崩、五十四、葬紀伊郡鳥羽安樂壽院御塔

最雲法親王

母藤原氏、伊勢守時經女

悰子內親王

母王氏、神祇伯康資王女

喜子內親王

母不詳



懷子內親王 母不詳

僧 寬 曉 母藤原氏、近江守隆宗女

第七拾五 崇德天皇 顯仁

母藤原璋子、權大納言公實女、元永二年五月廿八日生、保安四年正月廿八日踐祚、同年二月十九日即位、永治元年十二月七日讓位、長寬二年八月廿六日崩、四十六、葬讚岐國阿野郡白峯陵

重仁親王 母源氏、大藏卿行宗女、實法勝寺執行信緣女

僧 元 (性) 母源氏、參河權守師經女  
元性改覺惠(仁和寺諸院家記)

通仁親王 母同崇德天皇

君仁親王 母同

第七拾七 後白河天皇 雅仁

母同、大治二年九月十一日生、久壽二年七月廿四日踐祚、同年十月廿六日即位、保元三年八月十一日讓位、建久三年三月十三日崩、六十六、葬愛宕郡法住寺法花堂

本仁親王 母同

第七拾六 近衛天皇 體仁

母藤原得子、贈左大臣長實女、保延五年五月十八日生、永治元年十二月七日踐祚、同月廿七日即位、久壽二年七月廿三日崩、十七、葬紀伊郡鳥羽安樂壽院新御塔

道惠法親王 母紀氏、石清水別當法印光清女

覺快法親王 母同

最忠法親王 母不詳

禧子內親王 母同崇德天皇

上西門院 統子內親王、初名恂子、母同



妍子內親王 母藤原氏、參議家政女

叡子內親王 母同近衛天皇

八條院 暲子內親王、母同

高松院 妹子內親王、母同

頌子內親王 母藤原氏、左大臣實能女

詢子內親王 國詢恂之誤、恂子即上西門院也、宜刪去

皇女 母同道惠法親王

皇女 母藤原氏、權中納言實衡女

道果法親王 母不詳

僧眞譽 母橘氏、修理大夫俊綱女

第七十八 一條天皇

守仁

母源懿子、左大臣有仁女、實贈太政大臣藤原經實女、康治二年六月十七日生、保元三年八月十一日踐祚、同年七月廿日即位、永萬元年六月廿五日讓位、同年七月廿八日崩、廿三、葬葛野郡香隆寺陵

第七十九 六條天皇

順仁

母伊岐氏、大藏大輔致遠女、中宮藤原育子子養、長寬二年十一月十四日生、永萬元年六月廿五日踐祚、同年七月廿七日即位、仁安三年二月十九日讓位、安元二年七月十七日崩、十三、葬愛宕郡東山清閑寺御堂

僖子內親王

母中原氏、大外記師元女

僧尊惠

母右馬助光成女

以仁王

母藤原成子、權大納言季成女

第八十

高倉天皇

憲仁

母平滋子、贈左大臣時信女、應保元年九月三日生、仁安三年二月十九日踐祚、同年三月廿日即位、治承四年二月廿一日讓位、養和元年正月十四日崩、



廿一、葬愛宕郡清閑寺法花堂

守覺法親王

母同以仁王

圓惠法親王

母兵衛尉信業女

定惠法親王

母大江氏、備中守信忠女

靜惠法親王

母同圓惠法親王

承仁法親王

母紀氏、內膳司孝資女

道法法親王

母源氏、法印仁操女

殷富門院

亮子內親王、母同以仁王

式子內親王

母同

好子內親王

母同

休子內親王

母同

惇子內親王 母藤原氏、右大臣公能女  
 宣陽門院 觀子內親王、母高階榮子、僧章尋女  
 僧真禎 母同道法法親王  
 僧恆惠 母同定惠法親王

第八拾一 安德天皇

言仁  
母平德子、太政大臣清盛女、治承二年十一月十二日生、同四年二月廿一日踐祚、同年四月廿二日即位、壽永四年三月廿四日崩、八、山陵長門國豐浦郡阿彌陀寺御影堂

後高倉院 守貞親王、母藤原殖子、贈左大臣信隆女 承久三年八月十六日尊稱太上天

第八拾二 後鳥羽天皇

尊成  
母同、治承四年七月十四日生、壽永二年八月廿日依後白河天皇之詔踐祚、同三年七月廿八日即位、壽永四年四月廿五日歸于正位、建久九年正月十一日讓位、延應元年二月廿二日崩、六十、葬愛宕郡大原法花堂陵



惟明親王

母平氏、宮内少輔義範女

坊門院

範子内親王、母藤原氏、權中納言成範女

功子内親王

母藤原氏、右近衛少將公重女

潔子内親王

母藤原氏、參議賴定女

第八拾三

土御門天皇

爲仁

母源在子、内大臣通親女、實法勝寺執行能圓女、建久六年十二月二日生、同九年正月十一日踐祚、同年三月三日即位、承元四年十一月廿五日讓位、寬喜三年十月十二日崩、三十七、葬乙訓郡金原法花堂

第八拾四

順德天皇

守成

母藤原重子、贈左大臣範季女、建久八年九月十日生、承元四年十一月廿五日踐祚、同年十二月廿八日即位、承久三年四月廿日讓位、仁治三年九月十二日崩、四十六、葬愛宕郡大原陵

第八拾五

仲恭天皇

懷成

母藤原立子、太政大臣良經女、建保六年十月十日生、承久三年四月廿日踐祚、同年七月九日遜位、文曆元年五月廿日崩、十七、葬紀伊郡深草村東福寺山上陵

和德門院

義子内親王、母法印性慶女

忠成王

母藤原氏、從三位清季女

彦成王

母藤原氏、權中納言範光女

善統親王

母同

尊覺法親王

母同忠成王

覺惠法親王

母同

明義門院

諱子内親王、母同仲恭天皇

永安門院

禮子内親王、母内大臣信清女



皇 子 母法印公雅女  
(仁和寺日次記)

雅成親王 母同順德天皇

賴仁親王 母藤原氏、內大臣信清女

寶也上人 國賴仁親王之子、宜剛去

道助法親王 母同賴仁親王

覺仁法親王 母舞女瀧

道覺法親王 母法眼顯清女

尊快法親王 母同順德天皇

尊圓法親王 母藤原氏、大納言定能女

僧道守 母少納言典侍

僧覺譽 母舞女姬法師

僧道伊 母同

僧道緣 母同

僧行超 母同尊圓法親王

春華門院 昇子內親王、母藤原任子、太政大臣兼實女

嘉陽門院 禮子內親王、母同賴仁親王

肅子內親王 母源氏、少納言信康女

瀨子內親王 母舞女石

皇 (再補)  
母源氏

第八拾六 後堀河天皇

茂仁

花園院即位

母藤原陳子、贈太政大臣基家女、建曆二年三月十八日生、承久三年七月九日踐祚、同年十二月一日即位、貞永元年十月四日讓位、文曆元年八月六日



崩、廿三、葬愛宕郡東山觀音寺陵

尊性法親王 母同

道深法親王 母同

式乾門院 利子內親王、母同

安嘉門院 邦子內親王、母同

能子內親王 母同

本子內親王 母同

有子內親王 母不詳

第八拾七

四條天皇 秀仁

母藤原躰子、太政大臣道家女、寬喜三年二月十二日生、貞永元年十月四日踐祚、同年十二月五日即位、仁治三年正月九日崩、十二、葬愛宕郡東山泉涌寺御塔

室町院

暉子內親王、母藤原氏、權中納言家行女  
①一云暉子 ②一云暉子 ③一云暉子 ④一云暉子 ⑤一云暉子 ⑥一云暉子 ⑦一云暉子 ⑧一云暉子 ⑨一云暉子 ⑩一云暉子 ⑪一云暉子 ⑫一云暉子 ⑬一云暉子 ⑭一云暉子 ⑮一云暉子 ⑯一云暉子 ⑰一云暉子 ⑱一云暉子 ⑲一云暉子 ⑳一云暉子 ㉑一云暉子 ㉒一云暉子 ㉓一云暉子 ㉔一云暉子 ㉕一云暉子 ㉖一云暉子 ㉗一云暉子 ㉘一云暉子 ㉙一云暉子 ㉚一云暉子 ㉛一云暉子 ㉜一云暉子 ㉝一云暉子 ㉞一云暉子 ㉟一云暉子 ㊱一云暉子 ㊲一云暉子 ㊳一云暉子 ㊴一云暉子 ㊵一云暉子 ㊶一云暉子 ㊷一云暉子 ㊸一云暉子 ㊹一云暉子 ㊺一云暉子 ㊻一云暉子 ㊼一云暉子 ㊽一云暉子 ㊾一云暉子 ㊿一云暉子

(皇系(帝系)(帝系圖)圖) 暉子非同人、而二書以暉子為室町院者誤也

神仙門院 體子內親王、母同

昱子內親王 母藤原氏、權大納言兼良女

順子內親王 母不詳 ①一云須子(紹一本)

暉子內親王 母同四條天皇 ①一云暉子

皇子 母同

皇女 母不詳

第八拾八

後嵯峨天皇

母源通子、贈左大臣通宗女、承久二年二月廿六日生、仁治三年正月廿日踐祚、同年三月十八日即位、寬元四年正月廿九日讓位、文永九年二月十七日崩、五十三、葬葛野郡龜山殿新御堂淨金剛院  
母新日吉執行法眼覺亮女

尊守法親王

①



道仁法親王 母高階氏、大舍人頭仲資女  
 道圓法親王 母藤原氏、法印定勝女  
 仁助法親王 母同後嵯峨天皇  
 靜仁法親王 母同  
 最仁法親王 母藤原氏、法眼圓譽女  
 尊助法親王 母法印尋惠女  
 僧增仁 母律師兼尊女  
 僧懷尊 母不詳  
 正親町院 覺子內親王、母同後嵯峨天皇  
 仙華門院 職子內親王、母源氏、權中納言有雅女  
 諄子內親王 母源氏、僧都證遍女

秀子女王 母源貞光女  
 春子女王 母源氏、贈左大臣通宗女、通子妹  
 知子女王 母藤原氏、中納言範光女  
 信子女王 母同道圓法親王  
 是子女王 母法橋雲顯女  
 僧寂慧 母不詳  
 皇女 母同道仁法親王

宗尊親王 母平棟子、木工頭棟基女  
 第八拾九  
 後深草天皇 久仁

母藤原結子、太政大臣實氏女、寬元元年六月十日生、同四年正月廿九日踐祚、同年三月十一日即位、正元元年十一月廿六日讓位、嘉元二年七月十六日崩、六十二、葬紀伊郡深草法花堂



〔恆尊親王

龜山天皇初名歟

第九拾 龜山天皇

恆仁

母同後深草天皇、建長元年五月廿七日生、正元元年十一月廿六日踐祚、同年十二月廿八日即位、文永十一年正月廿六日讓位、嘉元三年九月十五日崩、五十七、葬葛野郡龜山殿法花堂

雅尊親王

母同

貞良親王

母同

圓助法親王

母藤原氏、權中納言能保女

淨助法親王

母藤原氏、權中納言實世女

性助法親王

母藤原氏、太政大臣公房女

覺助法親王

母藤原氏、刑部卿孝時女

忠助法親王

母同性助法親王

最助法親王

母藤原氏、權大納言隆衡女

慈助法親王

母藤原公子、太政大臣公經女

仁惠法親王

母藤原氏、太政大臣兼房女、實法眼證圓女

僧勝助

母源氏、從三位賴政曾孫

月華門院

綜子內親王、母同後深草天皇

延政門院

悅子內親王、母同慈助法親王

五條院

懌子內親王、母同覺助法親王

愷子內親王

母藤原氏、大炊助俊盛女

某內親王

母同覺助法親王

僧顯日

母藤原氏

皇

子 母源氏、權大納言通方女



神 僧 時 助 母不詳  
神 皇 女 母神仙門院體子、後堀河天皇皇女  
神 皇 女 母同後深草天皇

知仁親王 母藤原信子、左大臣實雄女

第九拾一 後宇多天皇 世仁

母同、文永四年十二月一日生、同十一年正月廿六日踐祚、同年三月廿六日即位、弘安十年十月廿一日讓位、正中元年六月廿五日崩、五十八、葬葛野郡嵯峨蓮花寺御塔

啓仁親王 母藤原位子、左大臣基平女

繼仁親王 母同

守良親王 母藤原氏、權中納言實任女

兼良親王 母藤原氏、太政大臣通雅女、實僧玄駒女

恆明親王 母藤原瑛子、太政大臣實兼女

良助法親王 母藤原氏、權中納言實平女

聖雲法親王 母同

覺雲法親王 母同

叡雲法親王 母藤原壽子、太政大臣公相女、實大膳太夫景房女

性惠法親王 母藤原氏、內大臣公親女

性覺法親王 母源氏、左近衛少將宣通女

性融法親王 母同

順助法親王 母平氏、兵部卿時仲女

慈道法親王 母同

行圓法親王 初名行仁、母同



恆雲法親王 母藤原氏、權中納言公雄女  
 益性法親王 母不詳  
 道澄法親王 母藤原氏、權中納言雅藤女  
 僧道性 母准后藤原貞子侍女督局  
 僧尊誓 母不詳  
 寬尊法親王 初名寬融、母權大納言俊光室  
釋尊一云觀尊  
 尊珍法親王 母從三位資子、後醍醐天皇猶子  
 昭慶門院 喜子內親王、母藤原雅子、從二位雅平女  
 暁子內親王 母同知仁親王  
 理子內親王 母藤原謀子、信子妹  
一云璵子  
 皇女 母京極院雜仕貫川

皇女 母同良助法親王  
 皇女 母五條院懌子、後嵯峨天皇皇女  
 皇女 母不詳  
 皇女 母不詳  
 皇女 母不詳  
 皇女 母不詳  
 皇女 母不詳  
 皇女 母不詳  
 皇女 母不詳

幸仁親王 母藤原成子、太政大臣公經女

第九拾二  
伏見天皇 熙仁

母藤原愔子、左大臣實雄女、文永二年四月廿三日生、弘安十年十月廿一日



踐祚、同十一年三月十五日即位、永仁六年七月廿二日讓位、文保元年九月三日崩、五十三、葬紀伊郡深草法花堂

久明親王 母藤原房子、內大臣公親女

性仁法親王 母同伏見天皇

行覺法親王 母同久明親王

深性法親王 母三善忠子、康衡女

恆助法親王 母藤原氏、參議茂通女

遊義門院 母藤原公子、太政大臣實氏女

永陽門院 久子內親王、母同伏見天皇

陽德門院 煖子內親王、母藤原相子、太政大臣公相女

章善門院 永子內親王、母同久明親王

貴子內親王 母同遊義門院

常仁親王 母不詳 (紹一本)

增覺法親王 母不詳

皇子 母不詳

皇女 母同遊義門院

第九拾三 後伏見天皇

胤仁

母藤原鐔子、太政大臣實兼女、實母藤原經子、參議經氏女、弘安十一年二月三日生、永仁六年七月廿二日踐祚、同年十月十三日即位、正安三年正月廿一日讓位、延元元年四月六日崩、四十九、葬深草法花堂

第九拾五 花園天皇

富仁

母藤原季子、左大臣實雄女、永仁五年七月廿五日生、延慶元年八月廿六日踐祚、同年十一月十六日即位、文保二年二月廿六日讓位、正平三年十一月十一日崩、五十二、葬愛宕郡粟田山十樂院陵

寬性法親王 母同花園天皇



惠助法親王 母法印任快女  
○門一云豪助  
 尊悟法親王 母源氏、參議具氏女  
○門  
 尊圓法親王 母三善氏、修理權大夫俊衡女  
○門  
 道瀨法親王 母藤原氏、權大納言實明女  
○門  
 尊熙法親王 母藤原氏、參議茂通女  
○門  
 聖珍法親王 母廣義門院西御方  
○門  
 皇子 母不詳  
 章義門院 譽子內親王、母藤原英子、權中納言公宗女  
○門  
 朔平門院 齋子內親王、母同花園天皇  
○門  
 延明門院 延子內親王、母同  
○門  
 進子內親王 母同道瀨法親王  
○門

直仁親王 母藤原實子、權大納言實明女、祖父太政大臣公守養女、建武二年生、正平三年十月擬光嚴天皇皇子、爲崇光天皇皇太弟、同六年十二月七日廢位、應永五年五月薨、六十四(天皇)年  
○門  
 覺譽法親王 母藤原氏、權大納言實明女、實子妹  
○門  
 源性法親王 母同直仁親王  
○門  
 皇子 母不詳  
 皇女 母同直仁親王  
○門  
 皇女 母藤原氏、從三位賴任女  
○門  
 徽安門院 壽子內親王、母同直仁親王  
○門  
 儀子內親王 母同  
○門  
 祝子內親王 母不詳  
○門

第九拾四  
 後二條天皇 母源基子、內大臣具守女、祖父太政大臣基具養女、弘安八年三月一日生、  
邦治



正安三年正月廿一日踐祚。同年三月廿四日即位。延慶元年八月廿五日崩。廿四、葬愛宕郡北白河陵。

邦良親王

母藤原宗子、參議宗親女。文保二年三月為後醍醐天皇皇太子。嘉曆元年三月廿日薨。廿七增

康仁親王

母源氏、權大納言定教女。元弘元年十一月為光嚴天皇皇太子。同三年十月廢位。正平十年四月薨。三十六增

邦省親王

母同邦良親王作

祐助法親王

母藤原氏、權中納言公泰女作

尊濟法親王

初名永尊。母藤原氏、內大臣公親女作

聖尊法親王

母同祐助法親王作

壽成門院

嬪子內親王。母平氏、少納言棟俊女作

珉子內親王

母法眼良珍女作

榮子內親王

母同祐助法親王作

煬子內親王

母平氏、參議信輔女作

第九拾六

後醍醐天皇

尊治タカヒ

母藤原忠子、參議忠繼女。內大臣藤原師繼養女。正應元年十一月二日生。文保二年二月廿六日踐祚。同年三月廿九日即位。延元四年八月十五日讓位。同月十六日崩。五十二、葬大和國吉野郡塔尾陵。

承覺法親王

母同作

性圓法親王

母同作

性勝法親王

母藤原氏、參議實俊女作

達智門院

嬪子內親王。母同後醍醐天皇作

崇明門院

襟子內親王。母掄子女王。宗尊親王女作

愉子內親王

母藤原氏、參議宗親女作

行圓法親王

初名行仁。母同後醍醐天皇作



皇女 ○母藤原氏、大納言長雅女

尊良親王 母藤原爲子、權大納言爲世女

王女 母藤原氏、權大納言爲世女、爲子妹

守永親王 母藤原氏、右大臣公顯女、後醍醐天皇猶子

僧良玄 母不詳、太政大臣藤原良基養子

僧良慧 母不詳

世良親王 母藤原氏、參議實俊女

王女 母不詳

恒良親王 母藤原廉子、贈左大臣公廉女、建武元年正月立太子、延元三年四月薨

成良親王 母同、延元元年十一月爲光明天皇皇太子、同年十二月廢位、延元三年四月二十一日薨

第九十七 後村上天皇 義良、初名憲良 母同、嘉曆三年九月生、延元四年八月十五日踐祚、同年十月五日即位、正平廿三年三月十一日崩、四十一、葬河內國錦部郡檜尾陵

護良親王 尊雲法親王、母源親子、權大納言師親女

陸良親王 母源氏、准后親房女、後醍醐天皇猶子

王女 母竹原氏、八郎宗親女

靜尊法親王 改惠尊、又改尊珍、母同世良親王

宗良親王 尊澄法親王、母同尊良親王

興良親王 母藤原氏、狩野介貞長女



尹良親王

母藤原氏、非伊介道政女、後龜山天皇猶子  
④(南傳)(信系)(南任)

源朝臣尹重

幼名良王、母源氏、世良田右馬助政義女  
④(南紹)(信系)

氷室良新

母同  
(信系)

王

櫻姬、母不詳

僧尊真

母藤原氏、贈左大臣隆資女  
④(紹一本)(南胤)一云真真④一云果尊(南紹)

聖助法親王

母菅原氏、正三位在仲女  
④(南胤)(南紹)

法仁法親王

母藤原氏、左近衛中將為道女  
④(南胤)(南紹)

玄圓法親王

母藤原守子、左大臣實泰  
④(南胤)(南紹)

滿良親王

母藤原親子、參議宗親女  
④(元裏)(南胤)(南紹)

僧恒性

母龜山天皇皇女  
④(南傳)(南胤)(南紹)

皇子

母同護良親王

懷良親王

母同法仁法親王  
④(南紹)一云良懷(南傳)(南胤)(善)

知良王

母昭訓門院近衛  
④(南傳)(南胤)(南紹)

宣政門院

權子內親王、母藤原禧子、太政大臣實兼女  
④(南傳)

祥子內親王

母同恒良親王  
④(南傳)

妣子內親王

母同護良親王  
④(南傳)

惟子內親王

母同恒良親王  
④(南傳)

皇女

母同世良親王  
④(南傳)

皇女

母藤原氏、權中納言為忠女  
④(南傳)

瓊子內親王

母同尊良親王  
④(南傳)

皇女

母後宇多天皇權中納言局右大臣藤原公泰女  
④(南傳)



皇 女 母源氏、右近衛中將基時女

皇 女 母民部卿局

皇 女 母藤原實子、左大臣實雄女

皇 女 母大納言局國權大納言藤原公敏女歟

皇 女 母坊門局

皇 女 母新室町院珣子、後伏見天皇皇女

皇 女 母同法仁法親王

果尊法親王 國僧尊真同人歟

尊性法親王 國上文所載之皇子中之一人歟  
(河內國龍泉寺碑)

最惠法親王 母同玄圓法親王

僧元選 母不詳  
(南傳)(信系)(南胤)

瑜子內親王 國上文所載之皇女中之一人歟

欣子內親王 國同上

幸子內親王 國同上

貞子內親王 國同上

皇 女 用堂國同上  
(鎌倉松岡過去帳)(南傳)(有)

皇 女 母源氏、左馬權頭堀口貞義女  
(南錄)

長慶院

寬成親王、母不詳、尊稱太上天皇、玉川宮、應永元年八月一日薨、五十二、  
(大乘院日記目錄)(古本帝王系圖)(高野山文書)(仙源抄奧書)(南胤)一  
 云長慶壽院(應永王代記)

王 子 母不詳



僧尊聖 母不詳、一云長慶院猶子

王女 母不詳

新宣陽門院 憲子內親王、母源顯子、准后親房女

第九十八 後龜山天皇 熙成

母藤原勝子、左大臣師基女、正平二年五月十一日生、同廿三年四月廿九日踐祚、文中二年八月二日即位、元中九年三月閏十月五日讓位、應永卅一年四月十二日崩、七十八、葬葛野郡嵯峨福田寺陵

惟成親王 補以下並同

成仁王 母不詳

堯成王 母不詳、一云大納言源守親女

泰成親王 母同後龜山天皇

秦邦王 母不詳、一云秦國(南紹)

僧圓悟 母不詳、一云左馬頭楠正儀女

義有王 母同上

王 母不詳

王 母不詳

王 母不詳

王女 母不詳

良成親王 母同說成親王

師成親王 母同惟成親王



良子內親王 母同後龜山天皇

世泰親王 母從二位藤原教子國祖母藤原勝子子養之歟文中二年立太子天授三年七月十日薨南傳南任南紹

師泰親王 母不詳一云權中納言藤原邦光女邦子南編

行悟法親王 母同上南胤南紹門傳

僧 瑚 璉 母不詳南胤

僧 琮 頊 母不詳南胤

泰子內親王 母同良泰親王南錄

皇 再補 恒敦宮、母不詳

(建內記)

良泰親王 母不詳、天授五年二月立太子、嘉吉三年五月七日薨南任南胤南紹(建內記)

義仁王 初名良仁、母不詳、一云權大納言藤原守房女南胤南胤南朝皇胤譜南朝紹運圖並良仁義仁爲二人以良仁係後龜山天皇之皇子

僧 教 尊 泰仁王、母同上南胤南胤南朝皇胤譜南朝紹運圖門傳

皇 再補 稱直藏主、母不詳(康富記)師卿記

僧 空 因 尊義王、金藏主、母同上南胤南胤南朝皇胤譜南朝紹運圖南編一云空圓南紹

尊 雅 王 母不詳、一云權大納言平經奏女南編國有栖川宮御藏本系圖、以尊雅王、爲尊義王之子者非是

尊 慶 王 母同上南胤

王 女 母同上南胤國南朝皇胤譜南朝紹運圖、並以尊雅王尊慶王及王女、爲天基天皇之子者非是、天基天皇則義仁王之借稱也

尊 秀 王 母不詳、一云平氏、左兵衛尉色川南胤南胤南朝皇胤譜南朝紹運圖、並以尊雅王尊慶王及王女、爲天基天皇之子者非是、天基天皇則義仁王之借稱也

忠 義 王 母同上南胤南胤南朝皇胤譜南朝紹運圖、並以尊雅王尊慶王及王女、爲天基天皇之子者非是、天基天皇則義仁王之借稱也

光嚴天皇

量仁 母藤原寧子、左大臣公衡女、正和二年七月九日生、元弘元年九月廿日踐祚、同二年三月廿二日即位、同三年十二月十日廢位、正平十九年七月七日崩、五十二、葬丹波國桑田郡山國陵



光明天皇

ユタヒト 豐仁

母同、元亨元年十二月廿三日生、延元元年八月十五日踐祚、同二年十二月廿八日即位、正平三年十月廿七日讓位、天授六年六月廿四日崩、六十、葬大和國城上郡長谷陵

僧周尊

母不詳、一云參河守某女、入道大納言某養女

皇女

母不詳 (紹一本)

皇女

母不詳 (紹一本)

法守法親王

母高階氏、從二位邦經女

尊胤法親王

母治部卿局、法印泰豪女

景仁親王

母同光嚴天皇

長助法親王

母藤原氏、權大納言實明女

寬胤法親王

母同

承胤法親王

母同

亮性法親王

母同

慈眞法親王

母藤原氏、稱對御方、權大納言實明女

尊道法親王

母同

新室町院

珣子內親王、母同光嚴天皇

章德門院

璜子內親王、母同長助法親王

進子內親王

母同慈眞法親王

皇女

母右京大夫局

皇女

母同

皇女

母同光嚴天皇

皇女

母不詳 (紹一本)



覺字女王 母同慈真法親土  
國進子內親土同人

崇光天皇 興仁

母藤原秀子、內大臣公秀女、建武元年四月廿二日生、正平三年十月廿七日踐祚、同四年十二月廿六日即位、同六年十一月七日廢位、應永五年正月十三日崩、六十五、葬山城國紀伊郡伏見大光明寺陵

後光嚴天皇

母同、延元三年三月二日生、正平七年八月十七日踐祚、同八年十二月廿七日即位、建德二年三月廿三日讓位、文中三年正月廿九日崩、三十七、葬紀伊郡深草法花堂

義仁親王 母藤原氏、權大納言公蔭女  
繼(拾花)

光子內親王 母不詳

尊朝法親王 母不詳

皇女 母同崇光天皇

皇女 母宣政門院懼子、後醍醐天皇皇女

惠嚴女王 母不詳

後圓融天皇

母藤原仲子、贈左大臣兼綱女、正平十三年十二月十三日生、建德二年三月廿三日踐祚、文中三年十二月廿八日即位、弘和二年四月十一日讓位、明德四年四月廿六日崩、三十六、葬深草法花堂

亮仁法親王 母藤原氏、右衛門佐局

行助法親王 母同

覺叡法親王 母藤原氏、法印長快女

永助法親王 母同後圓融天皇

堯仁法親王 母同

道圓法親王 母同覺叡法親王  
母同(門葉)



覺增法親王 母同亮仁法親王 (門傳)  
 寬守法親王 母不詳  
 明承法親王 母橋氏、從三位以繁女 (門傳)  
 聖助法親王 母不詳  
 堯性法親王 母同亮仁法親王 (門傳) (東年)  
 道寬法親王 母不詳 (門傳) (門傳) 一云寬教 (和)  
 治子內親王 母不詳  
 見子內親王 母不詳  
 皇子 龍頭菴院主、一作皇女、母不詳 (和)  
 秀仁女王 敬愛寺長老、一作景愛寺、母不詳 (和)  
 皇子 母同亮仁法親王 (和)

第九拾九 後小松天皇 干仁

母藤原嚴子、內大臣公忠女、天授三年六月廿六日生、弘和二年四月十一日踐祚、同年十二月廿八日即位、明德三年 九年 閏十月五日受後龜山天皇之禪、應永十九年八月廿九日讓位、永享五年十月廿日崩、五十七、葬深草法花堂  
 道朝法親王 母藤原今子、權大納言隆鄉女 (和) (拾化)  
 珪子內親王 母同後小松天皇 (和)  
 皇女 母不詳 (和)  
 皇女 母不詳 (和)

第百 稱光天皇 實仁

母藤原資子、贈左大臣資國女、准大臣資教養女、應永八年三月廿九日生、同十九年八月廿九日踐祚、同廿一年十二月十九日即位、正長元年七月廿日崩、廿八、葬深草法花堂



皇 子 母同  
 理 永 女 王 母同  
 (再補) 宗 純 母藤原氏  
 一休(和長記)(一休年譜)

皇 女 母不詳  
 皇 女 母藤原氏、參議永藤女  
 皇 女 母藤原氏、正三位基規女、權大納言實秀養女

榮 仁 親 王 母源資子、權大納言重資女  
 弘 助 法 親 王 母三條局  
 興 信 法 親 王 母不詳  
 僧 阿 榮 母同弘助法親王

僧 周 乾 母不詳  
 皇 子 母同弘助法親王  
 皇 子 母不詳  
 皇 子 母廊御方  
 瑞 室 女 王 母同弘助法親王  
 皇 女 母不詳  
 皇 女 母同弘助法親王  
 皇 女 母治部卿局

後 崇 光 院

貞成親王、母西御方、父不詳、以權中納言藤原實治女治子爲養母、應永三十二年爲後小松天皇猶子、文安四年十一月廿七日尊稱太上天皇、康正二年



八月廿九日崩、八十五、（傳）

第百一 後花園天皇

彦仁

母源幸子、贈左大臣經有女、應永廿六年六月十八日生、正長元年七月廿八日踐祚、永享元年十二月廿七日即位、寬正五年七月十九日讓位、文明二年十二月二十七日崩、五十二、葬丹波國桑田郡山國常照寺御塔

貞常親王

母同

性惠女王

母同

理延女王

母同

王

母同

王

母不詳

第百二 後土御門天皇

成仁

母藤原信子、贈太政大臣信宗女、實藤原孝長女、嘉吉二年五月廿五日生、

百四十二

百四十三

觀心女王

母同

照巖女王

母不詳

皇女

母不詳

第百三 後柏原天皇

勝仁

母源朝子、贈內大臣長賢女、寬政五年十月廿日生、明應九年十月廿五日踐祚、大永元年三月廿二日即位、同六年四月七日崩、六十三、葬深草法花堂

尊傳法親王

母同

仁悟法親王

母藤原兼子、贈太政大臣持忠女

皇子

母不詳

皇女

母藤原房子、贈左大臣教秀女、國皇胤紹運錄作皇子非



應善女王 母同仁悟法親王

皇女 母同

智圓女王 母藤原房子

椿性女王 母不詳

慈勝女王 母不詳

僧真智 母不詳 專修寺記云、後土御門天皇皇子尊平、入專修寺落飾、他書無所見

第四百 後奈良天皇

母藤原藤子、贈左大臣教秀女、明應五年十二月廿三日生、大永六年四月廿九日踐祚、天文五年二月廿六日即位、弘治三年九月五日崩、六十二、葬深草法花堂

母源氏、權大納言雅行女

覺道法親王 母同後奈良天皇

尊鎮法親王 母同後奈良天皇

彦胤法親王 母同覺道法親王

僧道喜 母藤原繼子、權中納言永繼女

覺鎮女王 母同後奈良天皇

覺音女王 母同覺道法親王

皇子 母同後奈良天皇

第四百五 正親町天皇

母藤原榮子、參議賢房女、永正十四年五月廿九日生、弘治三年十月廿七日踐祚、永祿三年正月廿七日即位、天正十四年十一月七日讓位、文祿二年正月五日崩、七十七、葬深草法花堂

母伊豫局、小槻雅久女

僧覺怒 母同正親町天皇

皇子 母同

皇女 母同



皇女 母同  
 普光女王 母藤原量子、權大納言永家女、實參議橘以緒女  
 聖秀女王 母藤原國子、內大臣兼秀女  
 皇女 母藤原氏、左衛門督基春女  
 皇女 母同

陽光院 誠仁親王、母藤原房子、內大臣秀房女、天文廿一年四月廿三日生、天正十四年七月廿四日薨、三十五、追尊太上天皇  
 皇女 母藤原氏、參議賢房女  
 皇女 母藤原氏、權大納言雅綱女  
 皇女 母不詳  
 皇女 母不詳

第百六 後陽成天皇 周仁

母藤原晴子、贈內大臣晴右女、元龜二年十二月十五日生、天正十四年十一月七日踐祚、同月廿五日即位、慶長十六年三月廿七日讓位、元和三年八月廿六日崩、四十七、葬泉涌寺陵

智仁親王 母同、太政大臣豐臣秀吉猶子、更爲正親町天皇養子  
 空性法親王 母同、正親町天皇養子  
 良恕法親王 母同、正親町天皇養子  
 皇子 母同  
 興意法親王 母同、正親町天皇養子  
 王女 母藤原氏、權中納言爲益女  
 永邵女王 母同後陽成天皇  
 王女 母同



王 女 母同  
 王 女 母同  
 王 女 母同  
 王 女 母同  
 王 女 母同

覺深法親王 母藤原親子、權大納言親綱女  
 皇 女 母藤原前子、太政大臣前久女  
 承快法親王 母同覺深法親王  
 清子內親王 母藤原前子  
 皇 女 母同  
 文高女王 母同

第七百 後水尾天皇 政仁

母同、慶長元年六月四日生、同十六年三月廿七日踐祚、同年四月十二日即位、寬永六年十一月八日讓位、延寶八年八月十九日崩、八十五、葬泉涌寺陵

尊英女王 母同、左大臣信尹養子  
 藤原朝臣信尋 母藤原輝子、權大納言輝資女  
 尊性法親王 母藤原孝子、權中納言基孝女  
 堯然法親王 母同清子內親王  
 好仁親王 母源具子、權大納言重通女、太政大臣家康猶子  
 良純法親王 母同清子內親王、左大臣內基養子  
 藤原朝臣昭良 母同  
 貞子內親王 母同  
 皇 子 母大中臣氏、春日神主時廣女



尊覺法親王 母同 (紹續)  
 永崇女王 母平時子、參議時慶女 (紹續)  
 皇女 母同  
 皇女 母清原氏、播磨守胤榮女  
 道晃法親王 母同 (紹續)  
 道周法親王 母大中臣氏、春日神主時廣女 (紹續)  
 皇女 母清原氏  
 尊清女王 母藤原氏、權中納言賴宣女 (紹續)  
 慈胤法親王 母同道周法親王 (紹續)  
 尊蓮女王 母同清子內親王  
 文智女王 母藤原氏、權大納言公遠女 (紹續)

第八  
 明正天皇 興子 母源和子、太政大臣秀忠女、元和九年十一月十九日生、寬永六年十一月八日踐祚、同七年九月十二日即位、同廿年十月三日讓位、元祿九年十一月十日崩、七十四、葬泉涌寺陵  
 昭子內親王 母同 (紹續)  
 高仁親王 母同 (紹續)  
 皇子 母同 (紹續)  
 顯子內親王 母同 (紹續)  
 理昌女王 母藤原隆子、贈左大臣隆致女 (紹續)  
 賀子內親王 母同明正天皇 (紹續)

第九  
 後光明天皇 母藤原基子、贈左大臣基任女、以源和子爲養母、寬永十年三月十二日生、同廿年十月三日踐祚、同年十一月廿一日即位、承應三年九月廿日崩、二十

オシホト  
紹仁



二、葬泉涌寺陵

禮成門院

孝子內親王、母源秀子、左近衛中將重秀女

皇女

母同明天皇

光子內親王

母同理昌女王

守澄法親王

母同後光明天皇

皇女

母藤原氏、權中納言氏成女

性承法親王

母同

永昌女王

母同後光明天皇

○第一百十  
後西院天皇

良仁

母同理昌女王、以源和子爲養母、寬永十四年十一月十六日生、承應三年十一月廿八日踐祚、明曆二年正月廿三日即位、寬文三年正月廿六日讓位、貞享二年二月廿二日崩、四十九、葬泉涌寺陵

誠子內親王

母明子女王、好仁親王女

長仁親王

母同

幸仁親王

母藤原共子、大納言共綱女

皇女

母同

皇女

母同

宗榮女王

母同

永悟法親王

母源氏、權中納言具起女

尊秀女王

母同幸仁親王

皇女

母藤原氏、從三位賴直女

義延法親王

母同幸仁親王

皇女

母同



天真法親王 母同  
 皇女 母同  
 皇女 母同  
 聖安女王 母同  
 益子內親王 母同  
 公辨法親王 母同  
 道祐法親王 母同  
 尙仁親王 母同  
 理豐女王 母同  
 皇女 母同  
 瑞光女王 母同

尊果女王 母同  
 道尊法親王 母同  
 尊勝女王 母同  
 皇女 母同  
 良應法親王 母同  
 皇女 母同  
 宗澄女王 母同  
 性眞法親王 母同  
 皇女 母同  
 堯恕法親王 母同  
 皇女 母同



理忠女王 母同理昌女王

常子內親王 母同堯恕法親王

穩仁親王 母同理昌女王、智忠親王養子

尊光法親王 母藤原氏、權大納言季繼女、贈太政大臣源家光猶子

皇 子 母同理昌女王

道寬法親王 母同

眞敬法親王 母同堯恕法親王

尊證法親王 母同

盛胤法親王 母同尊光法親王

第百拾一 靈元天皇

母同堯恕法親王、以源和子爲養母、承應三年五月廿五日生、寬文三年正月廿六日踐祚、同年四月廿七日即位、貞享四年三月廿一日讓位、享保十七

尊賀女王 母同尊光法親王

永亨女王 母同堯恕法親王

皇 女 母平氏、從三位時良女

憲子內親王 母藤原氏、權大納言俊廣女

濟深法親王 母藤原氏、權大納言實起女

寬隆法親王 母源氏、權大納言通福女

榮子內親王 母藤原房子、左大臣教平女

皇 子 母菅原庸子、權大納言爲庸女

第百拾二 東山天皇

母藤原宗子、內大臣宗條女、以藤原房子爲養母、延寶三年九月三日生、貞享四年三月廿一日踐祚、同年四月廿八日即位、寶永六年六月廿一日讓位、



同年十二月十七日崩、三十五、葬泉涌寺陵

皇 女 母同寬隆法親王 (紹續)

福子內親王 母同東山天皇 (紹續)

堯延法親王 母菅原庸子 (紹續)

永秀女王 母同東山天皇 (紹續)

皇 子 母同堯延法親王 (紹續)

文仁親王 母同東山天皇 (紹續)

皇 女 母同 (紹續)

勝子內親王 母同 (紹續)

皇 子 母同 (紹續)

皇 子 母菅原經子、權大納言爲庸女、庸子妹、承尙仁親王後 (紹續)

性應法親王 母同 (紹續)

皇 子 母源博子、參議通廉女 (紹續)

皇 女 母菅原經子 (紹續)

元秀女王 母同 (紹續)

皇 子 母源博子 (紹續)

尊賞法親王 母藤原氏、權中納言定淳女 (紹續)

永應女王 母同 (紹續)

皇 子 母藤原氏、民部權大輔相尙女 (紹續)

皇 子 母安倍氏、從二位泰貞女 (紹續)

皇 女 母藤原氏、民部權大輔相尙女 (紹續)

職仁親王 母源敦子、權大納言乘具女、實備中守秦重篤女 (紹續)

吉子內親王 母同 (紹續)



尊胤法親王 母秦仲子、肥後守重仲女  
(紹續)  
 堯恭法親王 母同職仁親王  
(紹續)  
 皇女 母秦氏、正三位相忠女  
(紹續)

皇子 母藤原賀子、內大臣隆賀女  
(紹續)  
 皇子 母同  
(紹續)  
 公寬法親王 母藤原經子、參議兼豐女、實權中納言爲經女  
(紹續)  
 秋子內親王 母幸子女王、幸仁親王女  
(紹續)  
 皇子 母藤原賀子  
(紹續)

第百拾三  
 ○中御門天皇 ヤスヒト 慶仁  
 母藤原賀子、以幸子女王爲養母、元祿十四年十二月十七日生、寶永六年六月廿一日踐祚、同七年十一月十一日即位、享保廿年三月廿一日讓位、元文二年四月十一日崩、三十七、葬泉涌寺陵

皇女 母同  
(紹續)  
 直仁親王 母同  
(紹續)  
 皇女 母菅原氏、大內記長量女  
(紹續)  
 聖祝女王 母同  
(紹續)

第百十四  
 ○樓町天皇 アキヒト 昭仁  
 母藤原尙子、太政大臣家熙女、享保五年正月一日生、同廿一年三月廿一日踐祚、同年十一月三日即位、延享四年五月二日讓位、寬延三年四月廿三日崩、三十一、葬泉涌寺陵  
 聖珊內親王 母平氏、權中納言行康女、實宮內權大輔丹波賴季女  
(紹續)  
 公遵法親王 母藤原右子、權大納言實業女  
(紹續)  
 忠譽法親王 母藤原常子、權大納言基勝女  
(紹續)